

公共駐車場におけるサインデザイン（実践編）
—わかりやすく親しみやすい駐車場をめざして—

はじめに

昭和 63 年、筑波研究学園都市における都市交通の円滑化と都市交通機能の充実育成を図ることを目的に設立した当財団は、平面駐車場 10 か所、収容台数 2,160 台をもって運営管理がスタートしました。その後、研究学園都市内に初めて約 1,000 台収容の立体駐車場—現在の南 1 駐車場が建設されました。当時の案内サインの多くは明度が薄く、グレーに塗装された鋼鉄製の盤面に白地のサインが施され、また、躯体外側の柱は、当財団のシンボルカラーであるブルーと白を基調とし、場内の梁は階層毎に色分けされ、駐車位置の視覚性を高めるため、レインボーカラーとして配色されました。これらは矢萩喜従郎氏のデザイン計画によるもので、建設当初には、駐車場全体の景観とサインデザインは中心地区に相応しいものと高く評価され、平成 3 年度に「公共の色彩賞」を受賞しました。

南 1 駐車場は開業後 25 年が経過し、施設自体の劣化が進行しつつあり、長寿命化の観点から柱梁等の清掃、塗装などメンテナンスを継続的に実施し、構造体の維持を中心に取組んできましたが抜本的な駐車場空間の改装までには至りませんでした。しかし、利用者のニーズとして、本来の駐車場機能である「安全で安心な駐車場づくり」「心地よい空間づくり」「情報発信基地機能化」などがより一層求められるようになってきました。

また、当財団が平成 18 年度に実施した自主研究である「少子高齢化社会におけるつくばでの自動車利用の変化と駐車場のあり方」調査での利用者アンケートの結果では、当該駐車場の評価において、「サイン情報の内容」や「サインの視認性」「場内の明るさ」などにおいて改善の要望が寄せられていました。

こうしたことを踏まえ、当財団は来街者をはじめ、隣接する商業施設利用者等の視点に立ち、駐車場におけるアメニティーを追求すべく、国内外の駐車場を調査し公共駐車場におけるサインデザインのあり方等について検討してきました。「計画編」では、これまで収集したサインデザインに関する国内外設置事例の整理、評価を行い、駐車場における快適な空間づくりのあり方についてまとめるとともに「実践編」では、実際に当財団が取組んだ南 1 駐車場におけるサインデザインの実施事例をとりまとめることとしたものです。本報告書が皆様の参考になれば幸甚です。

平成 26 年 3 月
つくば都市交通センター
理事長 伊藤 節治

公共駐車場におけるサインデザイン（実践編）
ーわかりやすく親しみやすい駐車場をめざしてー

目次

第1章	南1駐車場の事業報告	1
	1-1 南1駐車場サイン計画 事業報告	1
	1-2 調査	2
	1-3 問題提起	9
	1-4 改善案	11
	1-5 調査からサインリニューアル施工までの行程	19
	1-6 場内アメニティの改善	21
	1-7 リニューアルイベントの開催	23
	1-8 リニューアルイベントにおけるアンケート結果 および社会的な反響	25
	1-9 情報発信基地としての駐車場活用	32
	1-10 タウンセンター機能と情報の整理	32
	1-11 市民ギャラリー	38
資料編	南1駐車場資料集	43
	①調査	44
	②問題提起	52
	③リニューアルデザイン	61
	④エレベーターホール	80
	⑤アメニティ	82
	⑥駐車場入口	86
	⑦駐車場リニューアルイベント	88
	⑧情報発信基地としての駐車場活用	100
	⑨プラザパフォーマンスギャラリーの活用	110

第1章 南1駐車場の事業報告

1-1 南1駐車場サイン計画 事業報告

つくばセンター地区にある一般財団法人つくば都市交通センター（以下、「財団」という。）が運営管理している南1駐車場は、収容者数1008台、7階建の立体駐車場で、スキップフロアを利用した14フロアからなる大型駐車場である。年間利用者が200万人を超え、つくば市でも多くの人々に利用されている。しかし1988年の開業以来、施設内は老朽化し、当初計画されたサイン計画は褪色などの問題から、十分に機能していなかった。長年利用している利用者でさえ、駐車した位置を忘れるなどのトラブルが絶えなかった。このため改善を図る観点から、筑波学院大学デザイン系研究室「つくばクリエイティブラボラトリー（以下、TCLという）」では、新しいサイン計画の提案を行うこととしたものである。

南1駐車場のサインデザインを行うにあたり、第3章に挙げたサインシステムに必要な要件を念頭に計画した。

南1駐車場は、大型商業施設に併設されており、TXつくば駅やバスターミナルにも直近している等、地域交通の根幹となる駐車場である。このため、スムーズな位置把握と記憶への配慮と、多くの人に親しみを持って利用してもらうことに重点を置いて計画を行った。

すべての利用者に「覚えやすく、忘れにくい」また、女性や小さな子供に「親しみやすい」と感じてもらえることを目標に、キャラクターデザインを活用した新たなサイン計画を提案した。新サイン計画は、2011年に採択され、場内サイン指針の提案と、12種類112点のサインデザイン及び14種類66点の関連デザインを行った。キャラクターデザインは、筑波学院大学のメディアデザイン系の学生（「うみの棟」阿部裕美、「りくの棟」三浦芽依）が担当した。場内のリニューアル工事は、2012年1～2月にかけて行われ、2012年3月よりリニューアルオープンを果たした。

本章では、南1駐車場のサイン計画リニューアルにおける、概要、コンセプト、デザインについて事業報告を行う。

1-2 調査

南1駐車場サイン計画リニューアルにあたり、TCLでは、駐車場施設の調査と現状把握を行った。

南1駐車場は、北棟と南棟の2つの棟に分かれている。2棟の中心にエレベータホールがあり、エレベータ2基が設置されている。また棟それぞれに非常階段が設けられており、利用者は階段とエレベーターのどちらも利用することができる。1階と2階に近隣商業施設への連絡通路が3カ所あり、利用者のほとんどがいずれかの通路を利用する。

フロアはスキップフロア形式を取り入れており、1つのフロアが2つに区切られていた。北棟と南棟を合わせると、1つのフロアが4つのスキップフロアに分けられる。そのため、24フロアと屋上に分かれる。

利用者は車で入場する際に北棟か南棟を選択し、それぞれ場内のスロープで階上に上がっていく。車では北棟と南棟は移動できないが、歩行者は自由に行来することが出来る様になっている。



南1駐車場外観

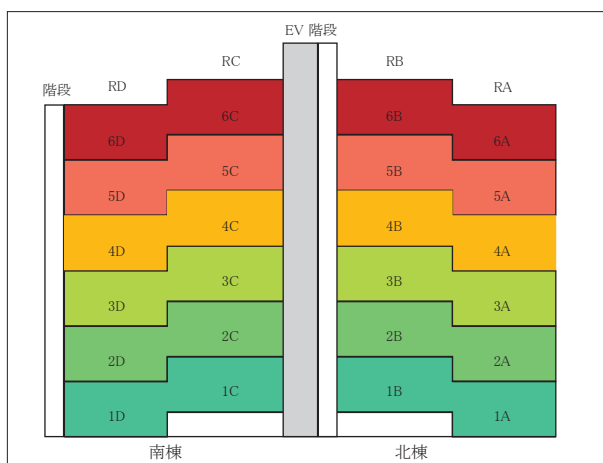
① 階層ごとの色分け

南1駐車場は、階層ごとにテーマカラーが設けられており、6色の色彩が用いられていた。また屋上にテーマカラーは設定されていなかった。テーマカラーは北棟と南棟共通である。

テーマカラーは、1階から6階まで階層が上がるにつれて、徐々に緑色から赤色までグラデーションで変化していく設定になっていた。しかし、経年劣化によって褪色している部分もあり、微妙な色の変化などが分かりにくく、十分に色彩の効果が発揮できているとはいえない状態であった。また、財団のシンボルカラーである水色も使用されており、メインのテーマカラーだけで7色、他に灰色、青、白、黒などが使用されていた。



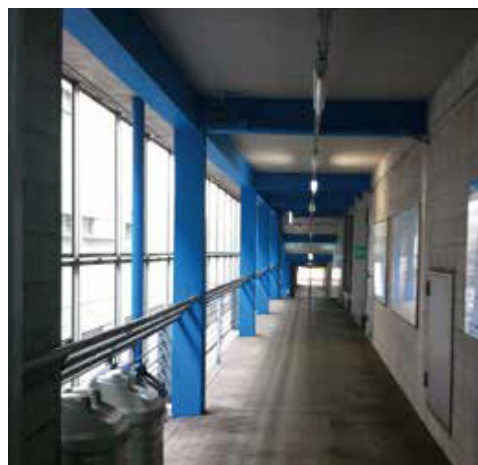
階層ごとの色分け：4階の例



南1駐車場の構造とフロアごとの色分け



屋上にはテーマカラーが無かった。

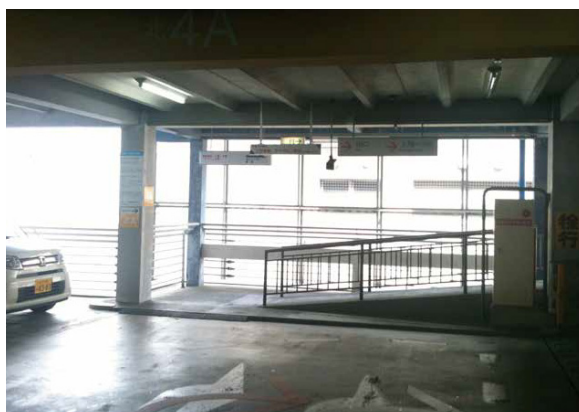


財団のシンボルカラー

② サインの種類

場内で使用されているサインは、主に壁面を利用した表示、吊り下げ型、柱を利用したサインであった。車室の壁面サインは大きめであったが、その他の吊り下げ型や柱に取り付けられたサイン類はいずれも小さく、見えにくい箇所もあった。

車室の壁面サインは、矢印などの表示が上部に固められているため、駐車していても矢印や文字が見えやすかった。しかし、壁面に階層表示がないため、利用者は出口付近まで移動して、柱に表示された階層表示を見るしかなかった。またサインに用いられる文字も全体的に小さめであった。



車室内の吊り下げ式サイン 小型で文字が小さく、見えにくいものが多かった。



車室壁面サイン

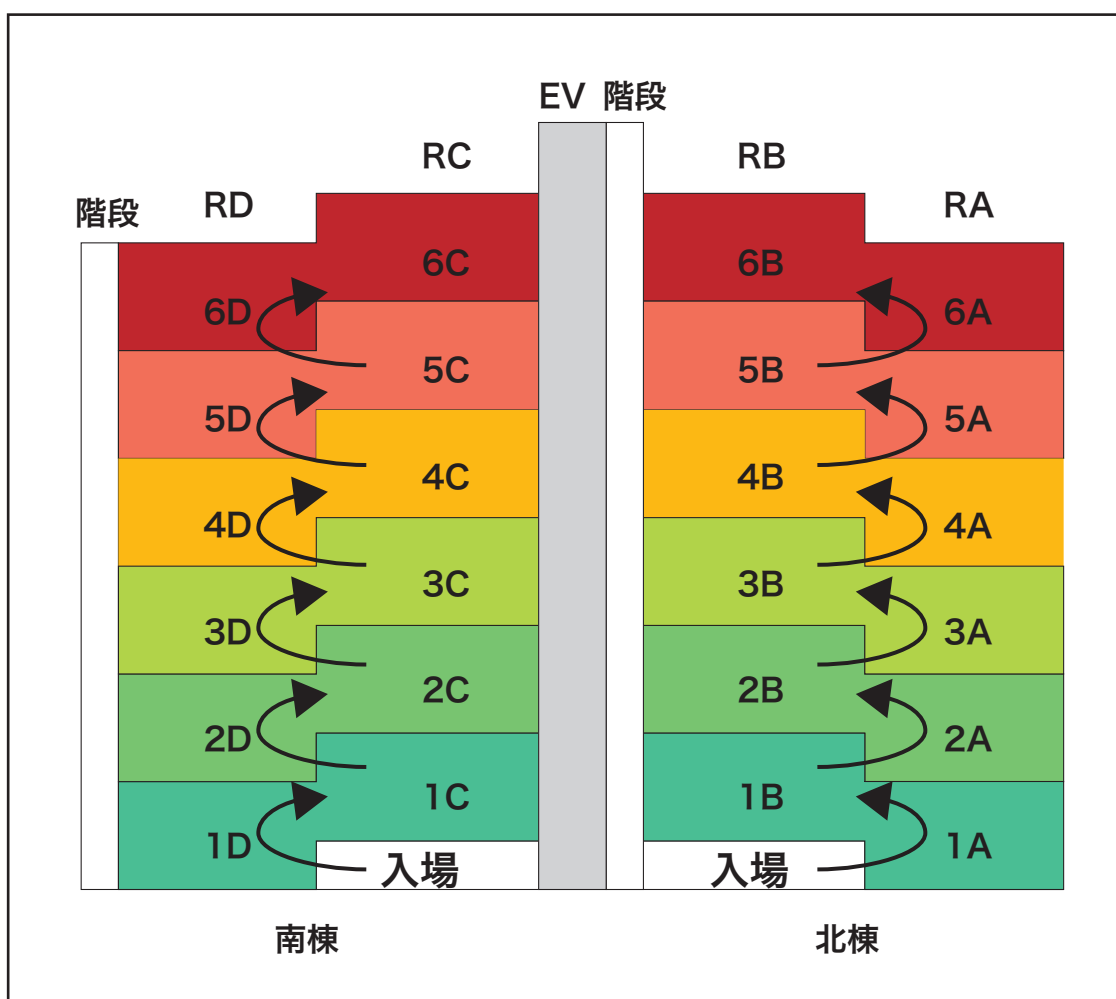


柱のサイン表示

③ 階層およびフロアの表示方法

階層表示は、数字と ABCD を用いて表示されていた。階層は数字で表示され、各階層ごとにフロアが4つに区切られていた。フロア表示は、北棟の北側から順に、ABCD で表記されている（図）。例えば、北棟の4階北側フロアは、「北4A」、南棟の北側フロアは「南4C」と表示される。

南棟の場合、利用者は「南1D」から入場するのだが、場内スロープで階上へ上がると、次のフロアは「南1C」となる。つまり、南棟についてはフロア表示のアルファベット順が逆行するようになっていた。



リニューアル前 車の移動とフロアのアルファベット表示の変化

④ エレベーターホール

北棟と南棟の間にエレベーターホールが設置されている。エレベーターホールには、場内での事前精算機、自動販売機、ゴミ箱、電話機、消火器等が設置され、周辺案内図と駐車場利用の注意書き等が掲示されていた。

駐車場1階と2階が隣接する商業施設への連絡通路につながるため、利用率が高い。特に2階は外部の歩行者用通路（ペディストリアン）と直結するため、人通りがもっとも多い。週末になるとエレベーターがかなり混雑し、待ち時間が長くなるため、階段で移動する利用者も多かった。階段を利用する際も、エレベーターホールを通過することになるので、ホールの利用率はとても高い。

エレベーターは落ち着いた紺色で塗装され、エレベーター扉部分に大きく階層が白抜き文字で表示されていた。この配色は全ての階に共通していた。エレベーターホールおよびエレベーター内には、フロアマップや場内案内図は掲示されていなかった。



リニューアル前のエレベーターホール

⑤ 廊下とアメニティ

南1駐車場には、自転車レンタルサービス「フリークル」がある。これは駐車場利用者に対して無料で自転車をレンタルするものである。希望者は、管理センターにエレベーターホールの電話から連絡をし、手続きが完了するとすぐに自転車を利用することができる。「フリークル」用のレンタサイクルは2階のエレベーターホール近くに設置されていた。

また同じく2階エレベーターホールの横にトイレが設置されていた。男女それぞれのトイレと身障者用トイレが用意されており、利用率も高かった。

エレベーターホールの壁面には、コンクリートブロックの壁面に、AED設置の表示、階段を示すピクトグラム、管理センター直結の電話機、駐車場利用案内などが設置されていた。表示は後から追加したものも多く、素材やレイアウトが統一されておらず、やや散漫な印象を受けた。



エレベーターホール壁面表示



身障者用トイレの表示

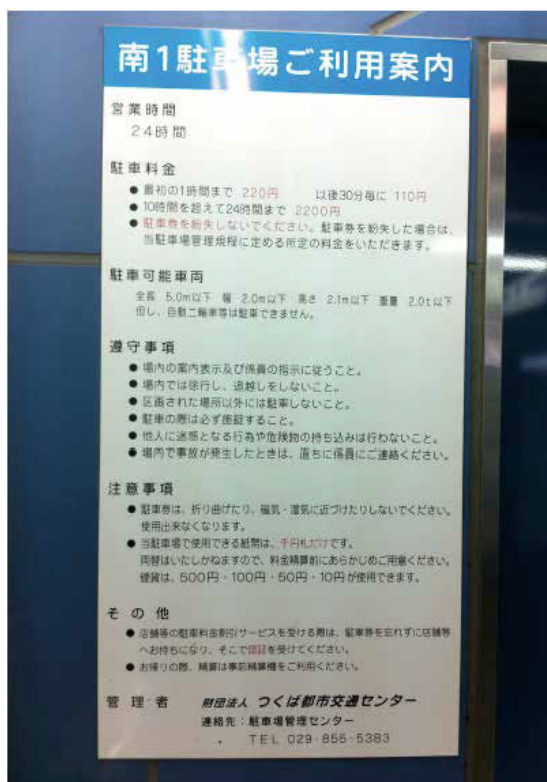
⑥ 場内の案内表示

場内にはさまざまな案内表示が掲示されていた。

廊下や2階エレベーターホールには、周辺施設の催事案内や、駐車場内アメニティのお知らせ、広告ポスターなどが数多く掲出されていた。

駐車場料金や利用方法などを示す「駐車場ご利用案内」や、駐車場を利用する際の注意をまとめた「駐車場ご利用のお客様へ」などが場内の各所に掲示されていた。この他に「駐車場規約」や、「駐車券を忘れないでください」といった注意書きまで、様々なレベルの案内・注意喚起用表示が、駐車場内に掲示されていた。

表示は、財団のシンボルカラーと水色と白色を用いたシンプルなもの、文字も大きく読みやすい。しかし、どれもデザインが同じで印象が似ているため、すべて同じ表示内容のように見えた。繰り返し掲示することは、利用者の注意喚起を促す。しかし、効果はあるが、南1駐車場の場合、種類・掲示の量が共に多いため、内容が重複していたり、また内容の違いに利用者が気がつかない可能性があった。



リニューアル前の場内案内表示

1-3 問題提起

南 1 駐車場の調査結果をもとに問題提起を行った。

① フロアごとの色分けの曖昧さ

階層ごとの色分けは、2 棟共通であるため、北棟と南棟の区別がしにくかった。さらに、場内には財団のシンボルカラーである水色も使用されており、利用者の混乱が予想された。

また、1～2 階などの下層のフロアを利用する人には、階層ごとに色が変わることに気がつかない可能性があった。また、老朽化のため褪色しており、サインとしては十分に機能していなかった。

色彩の効果を発揮させるためには、色数を制限し、またははっきりと区別できる配色に変更する必要がある。

② 複雑な階層・フロア表示

階層表示が複雑で、表示内容が多く、一度に覚える要素が多かった。

例えば、南棟の 6 階のスキップフロア北側であれば「南 6C」、北棟 3 階のスキップフロア北側であれば「北 3A」となる。方角を利用した表示はシステムティックであるが、方向感覚を失いがちな駐車場利用者にとっては、有効に働かない可能性もある。また、南 1 駐車場のすぐ北側に、財団が管理する「北 1 駐車場」があり、この駐車場と北棟を混同する利用者もいた。

階層・フロア表示については、よりシンプルに、また方角を利用しない表示に改めたほうが良いと考えた。

③ 逆行するフロアのアルファベット表示

南棟に車で進入した際、階層を上がると、フロアのアルファベット表示が逆行する。また、駐車後に、歩行者用の階段またはスロープを使ってエレベーターホールまで移動する際にも、フロアのアルファベット表示が逆行する。これらのことから、利用者が混乱する可能性があった。

南 1 駐車場では、例えば「南 2D」に駐車した利用者が、場内横の歩行者用スロープを使ってエレベーターホールに向かうとき「南 2C」を通過する。

④ サインのサイズと掲示場所

全体的にサインが小さく、見えにくい箇所があった。また、設置数も少なく、車室の壁面表示に、階層表示がなく、柱表示と梁表示に頼っていた。しかし、梁、柱の階層表示が小さく、利用者がサインを見落とす可能性があった。さらに商業施設に向かう連絡通路の案内も小さく、2階のみに表示されているため、初めて利用する人には分かりづらい。

移動しながら見やすく記憶しやすいように、サイン表示を大きくし、さらに利用者の動線に合わせて繰り返し掲示する必要がある。

⑤ 位置把握の難しさ

施設内には、場内図やフロアマップが表示されていなかったため、利用者が位置関係を把握しにくかった。さらに、エレベーター内にもフロアマップが表示されておらず、利用者は駐車フロアを離れると、自分の駐車位置を確認することができなかった。

利用者の多くが通過するエレベーターホール付近に、駐車位置と現在位置の把握を促すフロアマップなどの表示をしなければならない。

⑥ 情報の重複

利用案内、注意事項、重要事項などの文章説明ボードなどが、駐車場内のさまざまな場所に繰り返し設置されていた。何度も同じ内容の掲示が出ているため、かえって利用者の無関心を誘い、サインの見落としにつながる懸念された。

また、後から情報が追加された箇所は、複数の小さなサインが一度に表示されており、見えにくく散漫な印象となっていた。

必要な情報については、優先順位をつけた上で整理し、利用者の目に留まりやすいように配置しなければならない。

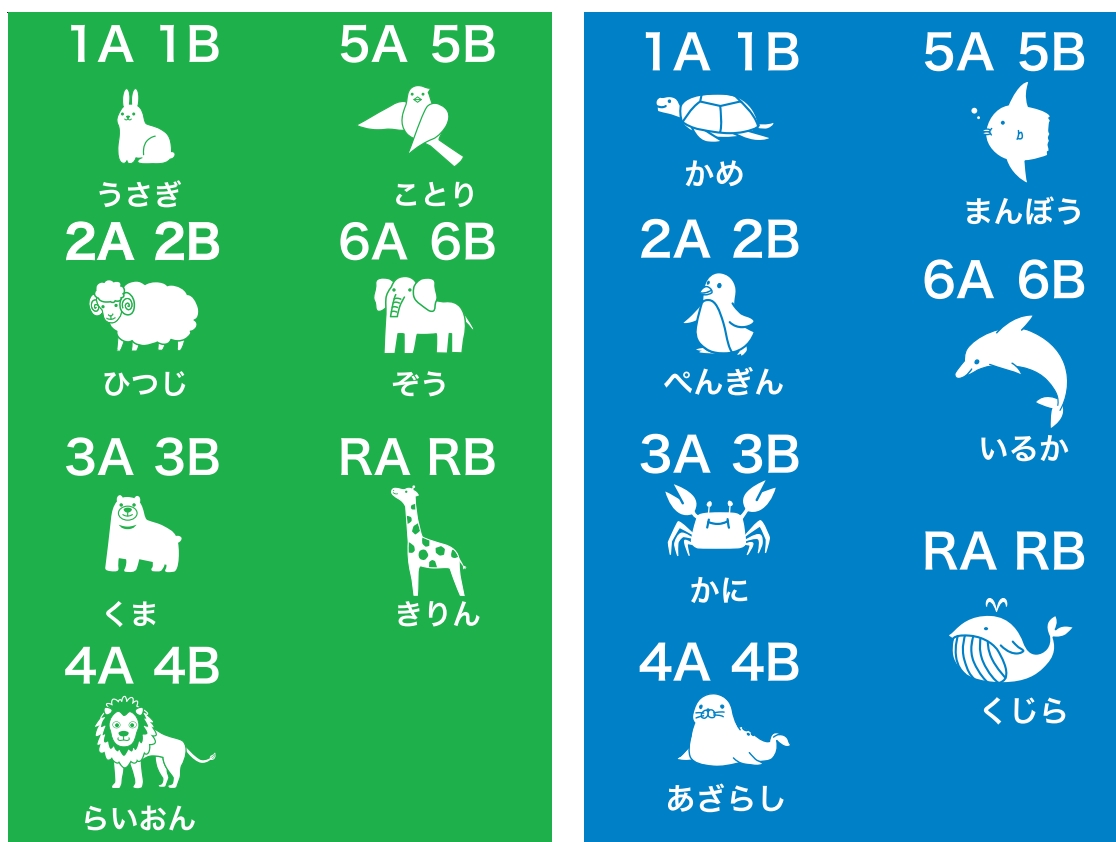
1-4 改善案

問題提起で述べた項目をもとに、南1駐車場新サイン計画の提案を行った。新提案は、第3章で掲げた「駐車場サインに必要な要件」に基づいて計画した。

南1駐車場は周辺地域住民の日常的な買い物や通勤等に利用されており、また老若男女を問わず幅広い世代が利用する、地域密着型の大型立体駐車場であるため、「どの世代にも親しみやすく、迷わないサイン」をメインコンセプトに設定した。さらに、つくば市は世界有数の研究・学園都市であり、外国人や留学生の利用も多いことから、国際都市にふさわしいサインを目指した。

改善にあたり、親しみやすく、覚えやすく、印象深くするために、動物キャラクターをサイン表示に利用することを基本方針とした。また「南1駐車場」という正式名称は残しながら、動物キャラクターに因み「うみとりくの駐車場」という新しい愛称を設定した。

具体的な改善案は「駐車場サインシステムに必要な要件」に従って説明する。



「うみとりくの駐車場」動物ピクトグラムデザイン 左) りくの棟、右) うみの棟

① 記憶のしやすさ

→色彩の整理およびテーマカラーの再設定

これまで階層ごとに設定されてきたテーマカラーを廃止し、棟ごとの色分けに変更した。北棟は「もり」を連想させるフォレストグリーン、南棟は「うみ」を表すマリンプルーをメインカラーとした。

この2色と合わせて、財団のシンボルカラーの水色を加え、施設で利用するメインカラー3色でサイン計画をすすめることにした。

→階層・フロア表示の簡便化

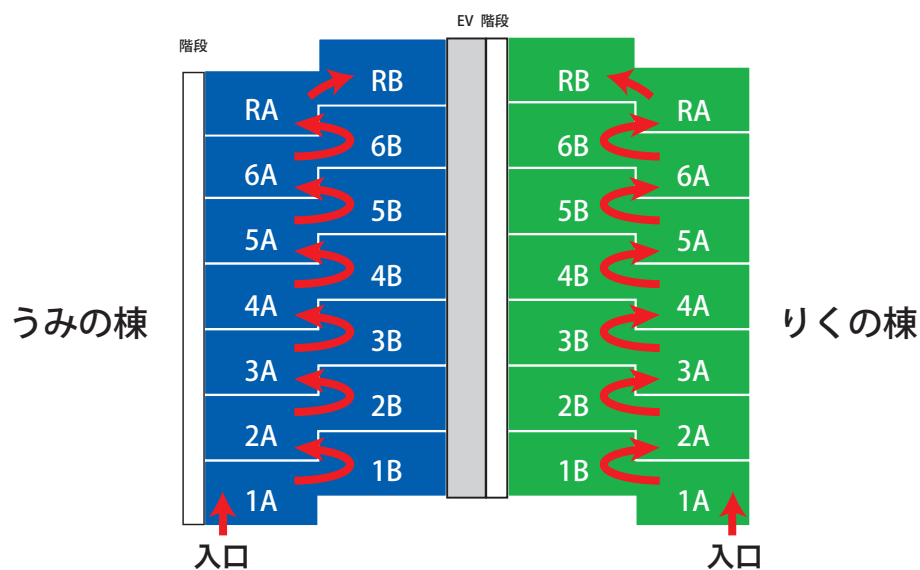
これまで ABCD の4つの要素で分けられていたフロア表示を、ABの2つの要素に統一した。また、エレベーターに近いフロアをBフロア、棟の外側のフロアをAフロアとした。

② 位置把握のしやすさ

→階層・フロア表示の改善

階層・フロア表示を変更したことで、南棟のアルファベット表示の逆行が改善されると共に、表記によって場内の位置把握を促す。

フロアマップと場内案内図を、エレベーターホール付近とエレベーター内に配置することで、利用者が現在地と駐車位置を把握しやすいようにする。



リニューアル後 車の移動とフロアのアルファベット表示の変化

③ サインの視認性、可読性、誘目性

→サインのサイズと色面積の変更

サイズをなるべく大きく変更する。また着色する面を広くし、暗くなりやすい車室内でも目立つように配慮した。

→書体の変更

これまでサイン用の書体は、数種類のゴシック体が併用されていたが「ヒラギノ角ゴシック」に統一した。

「ヒラギノ角ゴシック」は、東日本、西日本、中日本の各高速道路会社（NEXCO）が高速道路の案内標識に採用している書体である。高速走行中에서도見やすく、バランスが良い。文字を構成する一画一画の間の空白の大きさが均等に見えることなどから、駐車場サインにも有効であると考えた。

→標準案内図記号の採用

これまでオリジナルのピクトグラムが用いられていたが、内容表示が分かりにくいものもあった。このため、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団作成による、交通施設、観光施設、スポーツ施設、商業施設等の国内諸施設に使用される標準案内用図記号を採用した。公共設等に使用される案内用図記号は、外国人や初めての利用者にも分かりやすく、駐車場サインにも有効である。階段、トイレ、エレベーター、身障者マークを利用した。



高速道路表示のヒラギノゴシック



身障者用設備
Accessible facility



階段
Stairs

標準案内用図記号例

④ 情報の集約

→サイン表示の整理、「もしもしコール」の設置

施設内には、サイン類だけでなく、アメニティの利用表示や、利用者案内や注意書きなど、様々な案内が混在して表示されていた。小～中型のサインが追加された箇所もあり、レイアウトやデザインがバラバラで散漫な印象になったり、また反対に似通ったデザインのため、見分けがつかないものもあった。掲出される情報が多いと、利用者はかえって無関心になり、重要なサインや案内を見落とす可能性もある。そこで、サインと案内表示について、内容を確認し優先順位をつけ、整理を行う必要がある。

エレベーターホールの壁面には、AED表示や場内電話など、優先度の高い重要な内容が表示されていたが雑多な印象で、利用者が表示や電話機の存在に気がついていなかった。そこで、情報の優先度を整理し、情報を集約した上で、利用者の目に留まるような表示「もしもしコール」を新たにデザインした。



左右)「もしもしコール」デザイン案 左下)改善前 右下)設置イメージ

⑤ 適度な繰り返し

これまで壁面表示には階層表示がされておらず、利用者はフロアを移動する際に柱の小さな表示で確認するしかなかった。この表示も1～2個しか設置されておらず、さらにエレベーターホールにフロアマップがなかったため、階層やフロアを記憶することが難しかった。

そこで、利用者が移動する際の動線と歩行スピードに合わせて、サイン類を配置するように、設置位置と設置する数量を変更した。

⑥ シンプルなデザイン

→色数の限定、書体の統一

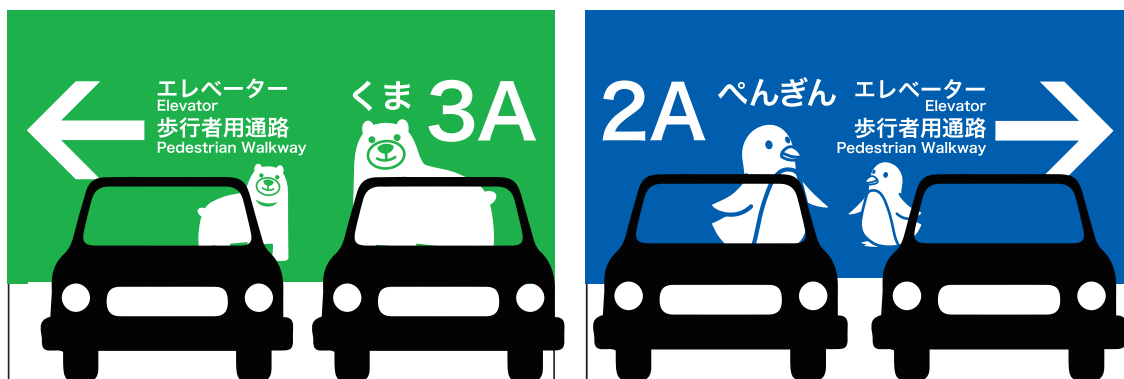
これまで、サイン類のデザインは、使用する色数が多く、書体が混在するなど統一感に乏しかった。改善案では、ヒラギノ角ゴシックと矢印、動物キャラクターを用いたシンプルなサインデザインを心がけた。

⑦ 高いインパクト

→色面積の拡大

車室の壁面サインは、壁一面を利用して色面積を大きくし、暗い空間でも遠くから目立つように変更した。また、他のサイン類もサイズを大きくし、色面積を拡大した。配色には黒、白、グレーを用い、各棟のテーマカラーが際立つように配慮した。

また、壁面表示の前方に駐車してあっても、動物キャラクターの顔が隠れないように配慮し、階層表示と動物キャラクターの印象が残りやすいようにした。



車室内壁面サイン 設置イメージ 左) りくの棟 右) うみの棟

⑧ 運転者と歩行者への配慮

→サインの表示位置の変更

改善前では、車室壁面表示の矢印が車に隠れてしまい、運転者、歩行者の両方に見えにくかった。また、壁面表示が梁に隠れて見え、十分に機能していなかった。そこで改善案として実物大サインを用いた現場合わせを行い、サイン表示の位置の変更を行った。

平均的な車の高さである 150~165cm に合わせ、矢印については、アンダーラインの位置を床から 160cm、矢印先端部の位置は、ワンボックス車でも隠れないように 2m とした。

柱表示や廊下表示についても、歩行者の視点に合わせて配置し、移動しながら自然に目に入るようにした。



実物大サインの現場合わせ



車室内壁面表示 寸法

⑨ 親しみやすさ

→動物イラストの導入

親しみやすく、記憶に残りやすいサインを実現するために、各棟のテーマにそって、階層ごとに動物イラストレーションを表示した。

南1駐車場は、子供連れの利用者が多いこと、また動物のイラストレーションであれば、日本語を読めない外国人にも分かりやすいと考えた。動物キャラクターは、国内・海外の駐車場サインにも利用されているほか、アメリカの国立公園協会や、ワシントン動物園で使用されており、国際的にも高い評価を得ている。

動物イラストレーションの導入によって、以下の効果が期待できる。

- 1 動物のイメージが記憶に残りやすく、迷わなくなる。
- 2 年代を問わず記憶しやすい。
- 3 小さな子供や保護者にも親しみをもってもらえる。
- 4 初めての利用者や、外国人にもわかりやすい。
- 5 施設内が明るく楽しい印象になる。

⑩ メンテナンスのしやすさ

→メンテナンスしやすい素材の選択

駐車場サインは、周辺施設の変化によって、サイン表示の追加・変更が起きやすい。従来では、耐久性の高いスチール製やプラスチック製のサインを、コンクリート壁に接着したり、ビスなどで固定していたが、この方法ではサインの変更・追加が難しい。そのため、現場で手書きや手作りのサインを紙に印刷して貼るなどして、デザインに統一感がなくなる等の問題が起きていた。

そこで、今後の変更・追加を想定して、改善案ではサイン類をシートに印刷をし、壁面に貼ることにした。

車室の壁面は、コンクリートブロックである。サインを貼る前に、ペンキでグレーに塗装して下地とし、さらにシートが密着するように、サインと同サイズのプラスチック板をブロックの上に固定し、その上にサ

イン表示を印刷したデザインシートを貼った。廊下表示やエレベーターホールのフロアマップ、「もしもしコール」などの他のサイン類にも、同じ工法を用いた。

この方法であれば、サインの変更の必要が生じた際に、古いシートを剥がしてから、元のデザインデータに追加して印刷した新デザインを貼ることで対応できる。また、情報を一部追加する場合には、部分的にサイン表示を作成し、元のサインに貼ることもできる。

最初に養生・素地作りさえ済んでしまえば、デザインシートを用いると、現場での作業もしやすい上に工期も短縮され、材料費も安いうえに、コストも低く抑えられることから、駐車場サインには有効な方法である。

1-5 調査からサインリニューアル施工までの行程

2011年4月に現地の調査・測量をし、7月に問題提起と改善案の提案のプレゼンテーションを行った。財団から新提案が採用されたことを受け、TCLではデザインコンセプトに沿って、サイン類のデザインを開始した。

動物キャラクターのデザインは、筑波学院大学メディア・デザイン系コースの学生（2年生、3年生）が担当した。また、サイン類のデザインとレイアウト作業も、メディア・デザイン系コースの2年生が担当した。

サインデザインは、車室壁面表示、柱表示、梁表示、廊下表示、エレベーターホール前に表示する階層表示、フロアマップ、階段ホール用表示、「もしもしコール」を作成した。また、ロゴマーク類もすべて一新し、新たに作成した。

サイン類はすべて実物大に印刷し、2011年8月に現場合わせを行い、実際の見え方や色の確認などを行った。駐車場は階層によって壁面や梁、天井高などのサイズが異なるため、表示の矢印や文字のベースラインを基準として、地面からの距離で設置する位置を調整することになった。

また、うみの棟テーマカラーの青色は、当初は明るめの色であったが、実際に車室に掲示すると彩度がかすみ、文字の白が目立たないことが分かった。そこで、やや明度の低い深めの青に変更し、文字の白との明度差をつけ、文字が見えやすいように配慮した。

現場あわせは、2～3回繰り返し、サイズ決定後、業者による印刷と施工が行われ、2012年2月末に工事終了、2012年3月末に新サインデザインのリニューアルが完成した。



車室内壁面サイン表示の現場合わせ



実物大サインの現場合わせ

1-6 場内アメニティの改善

サイン計画のリニューアルに伴い、場内のアメニティも改善した。

① エレベーター

エレベーター2基を新機種と交換すると共に、エレベーターホールとエレベーター内の掲示物レイアウト等を変更した。

エレベーターは液晶表示がされる最新機種とし、エレベーター内は明るく清潔なオフホワイトを基調としたデザインに変更した。また、エレベーターホールは、利用者のほとんどが立ち寄る場所であるため、南1駐車場のミーティングポイントとしてふさわしい、清潔感のある洗練された空間を目指した。

エレベーターの扉と壁は、財団のシンボルカラーである水色、周囲の壁面はオフホワイトで塗装し、明るい雰囲気生まれ変わった。

エレベーター内には、新たにA3サイズのパネルを2枚掲示できる広告スペースを設け、周辺の商業施設の催事案内を表示するようにした。またこれまでなかった駐車場のフロアマップも掲示し、利用者がエレベーター内で駐車位置を確認することが出来るようになった。

② トイレの改修

2階トイレの全面改修を行った。エレベーターホールと同様に、明るく清潔感の感じられるオフホワイトを基調とし、木目調のドアなど温かみのあるドア類を設置した。また案内表示のピクトグラムも大きな表示に変更し、廊下からも分かりやすくした。

「だれでもトイレ」は身障者用トイレを兼ねながら、小さな子供連れの親子や、付添者の必要な方も利用できる大型のバリアフリー対応トイレとし、さまざまな年代の方が使いやすいように配慮した。

③ フリークル

これまで分かりにくかった、レンタサイクルサービス「フリークル」のロゴマークを刷新した。また「もしもしコール」に表示し、より積極的な利用を促すよう工夫した。

④ その他

場内の照明を全てLEDに変更した。環境への配慮と節電化に加え、夜間の電球切れによる利用者の不便を減らすために有効である。

1-7 リニューアルイベントの開催

サインデザインのリニューアルおよび財団法人の名称変更を告知するために、2012年4月7日(土曜)、8日(日曜)にリニューアルイベントを開催した。会場は、駐車場に隣接する商業施設の1階の広場「つくばクレオスエア」のクレオ1階ホールで行った。

会場では、南1駐車場のリニューアルとつくば都市交通センターが財団法人から一般財団法人へ移行する記念事業に合わせ、財団の社会事業として展示を行った。また、動物キャラクターを印象づけるため、エコバッグ、シール、クリアファイル、絵本などのオリジナルグッズを作成し、アンケートやクイズに答えてくれた来場者にプレゼントした。さらに、会場では親子連れが楽しめるように、動物キャラクターの塗り絵体験や、風船の配布も行った。

当日は、財団の職員と、筑波学院大学の学生スタッフが対応にあたった。週末のショッピングセンターでの開催ということもあり、大勢の親子連れ、年配のご夫婦、学生など、さまざまな年代の来場者で賑わった。特に、動物キャラクターの評判が良く、オリジナルグッズも人気であった。中でも親子連れの利用者からは「子供が動物キャラクターを見たがるので、普段は使用しない屋上フロアまで上がるが増えた」などのご意見等が寄せられた。



イベントのパネル展示の様子



来場者に風船が配布された



上左) リニューアルイベント告知ポスター 上右) 駐車場リニューアル告知ポスター
下) 駐車場キャラクターグッズ

1-8 リニューアルイベントにおけるアンケート結果および社会的な反響

リニューアルイベントでは、アンケートの回答者数 617 人（男性 136 名、女性 393 名、無記入 88 人）、クイズ回答者数 269 人、ぬり絵実施者数 49 人と、多くの来場者の方にアンケート・イベントに参加していただいた。ここでは、アンケートのうちサインに関連する項目を抜粋して紹介する。

- ・「今回のリニューアルについてご存知でしたか？」
全体では半数が「知っていた」と答えた。特に女性の認知度が高かった。
- ・「リニューアルした駐車場について感想を教えてください」
「とても良い 39%」、「良い 43%」と 8 割が良い印象を持っていた。
- ・「動物キャラクターの採用」
「とても良い 53%」、「良い 41%」と約 9 割が良い印象を持っていた。
- ・「リニューアルした駐車場について感想を教えてください」
「とても覚えやすい 31%」、「覚えやすい 53%」と 8 割から「覚えやすい」と評価された。
- ・リニューアルについての感想
 - 動物キャラクターがかわいい、わかりやすくなった
 - 子供が覚えてくれるから嬉しい
 - キャラクターが出来たことで上の階に行く楽しみが出来た
 - 駐車場が明るく楽しい感じになった

アンケートの結果から、動物キャラクターを採用したリニューアルは約 8 割の方に好評であることが分かった。しかしその一方で、以前の表示方法のほうが慣れていて、というご意見もあった。地域で長く親しまれてきた駐車場のリニューアルに際しては、以前からのユーザーの意見も重要視しなければならないということも判明し、今後の課題としたい。

駐車場のリニューアルは地域メディアにも広く取り上げられた。リニューアルについては、茨城新聞とラジオつくばで取り上げられ、取材を受けた。またリニューアルイベントは、つくば市のケーブルテレビ ACCS の取材を受けるなど、社会的な関心を集めた。



イベントのCATV取材



ラジオ取材

2012年(平成24年)5月4日 金曜

土浦・つくば支社 ☎029(822)4567 ファクス(823)6488
 取手・龍ヶ崎支局 ☎0297(72)1139 ファクス(74)2700
 右岡支局 ☎0299(26)6100 ファクス(26)6405

茨城新聞 県南県西

つくばの立体駐車場

「動物」の目印 利用者大好評

お年寄りや子ども、外国人が駐車位置を憶しやすハリアフリー・デザインしよう。筑波学院大学(つくば市吾妻)の学生たちの制作した動物キャラクターの表示「覚えやすい」と利用者の好評を得ている。つくばクレオスクエア北側にあるつくば都市交通センターの管理する7階建て立体駐車場の表示で、4月からデザインを改め、リニューアルオープンした。

筑波学院大生デザイン

立休駐車場の南北を、さん21が陸の動物「海と陸」に二分。各年度の卒業生の阿部随を個別の動物で表示。裕根さん22が海の動物さん21と花山美乃里さん21が担当した。観学部生の黒尾芽依(さん)も、誘導の

新デザインの動物キャラクターは1階から陸が緑色でウサギ、ヒヨコ、クマ、ライオン、鳥、ソウ、キリン、海は青色でカメ、ペンギン、カニ、アザラシ、マンボウ、イルカ、クジラの順。各階の壁や梁、柱などに描かれている。従来の各階の表示はアルファベットと数字の組み合わせで、「利用客が覚えにくい」との声があった。同大は昨年4月、学生の卒業制作展をつくば都市交通センター側が同大側の一駐車場の改善方法について一緒に考えてほしい」と声を掛けたという。

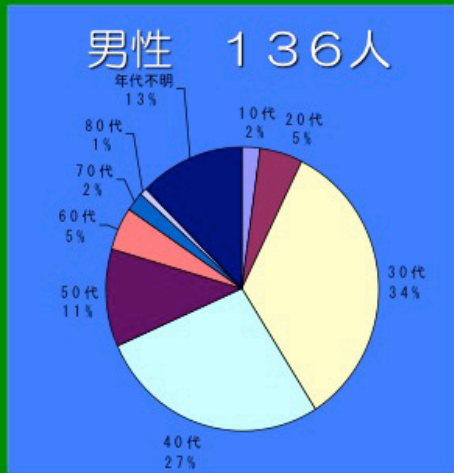
「標を少な、わかりやすくキャラクターを作らなければいけない」とも勉強になった。阿部さん、黒尾さんはお年寄りから「すてきなデザインだね、覚えやすくなった」と反響があった。うれしかったと感想を語った。指導した中川麻子講師(40)は「デザインで地味貢献しない。他の駐車場のデザインも検討している。つくばをデザインで楽しい空間にしたい」と、今後の活動展望を話している。(倉岡良一)

茨城新聞 2012年5月4日付掲載

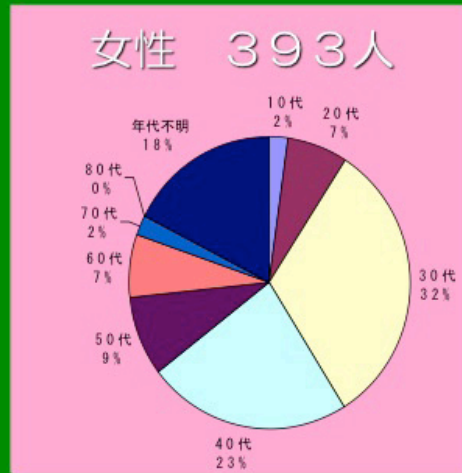
アンケート集計結果

全体 617人

男性 136人



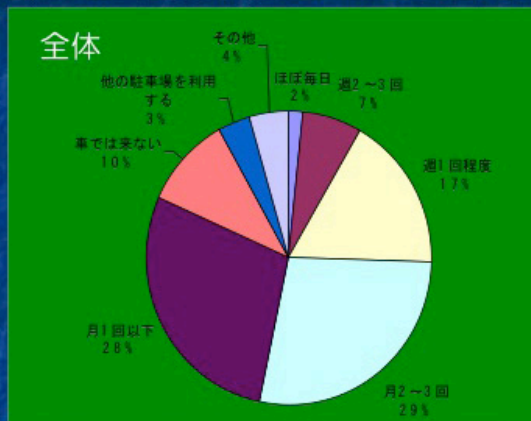
女性 393人



性別無記入 88人

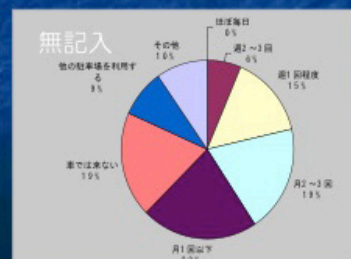
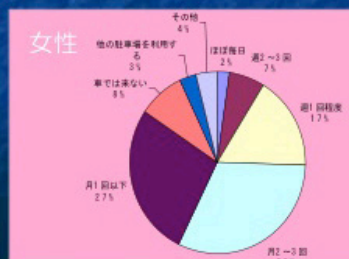
◇質問1

南1駐車場を利用したことはありますか？



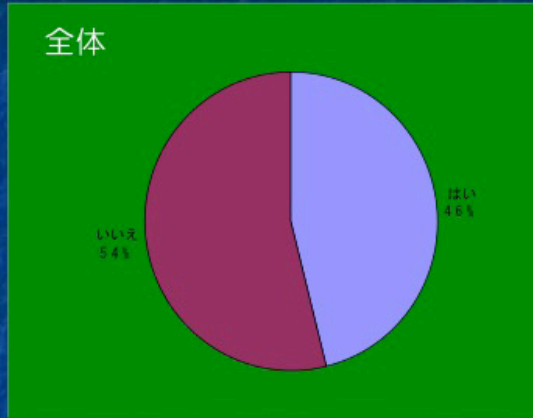
■全体では「月2~3回」と「月1回以下」の利用が共に3割弱が多い

■性別毎では、男性は「月1回以下」女性「月2~3回」の利用が最も多い

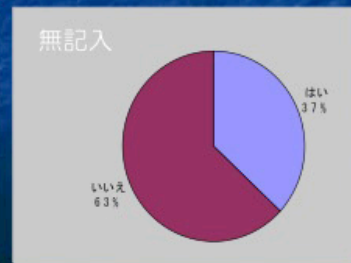
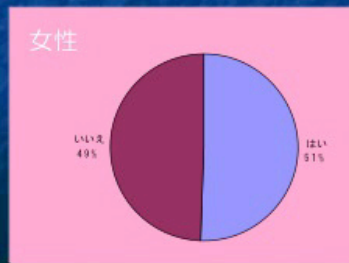
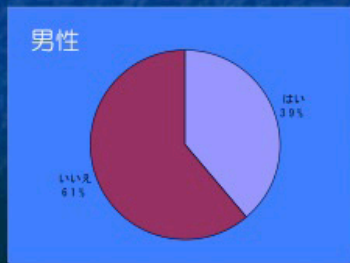


◇質問2

今回のリニューアルについてご存知でしたか？

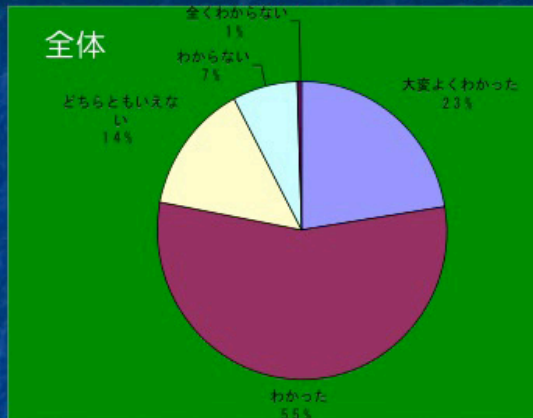


- 全体では、ほぼ半数ずつ
- 利用頻度が低い回答者は「いいえ」が多い
- 利用頻度が高い女性の方が認知度が高い

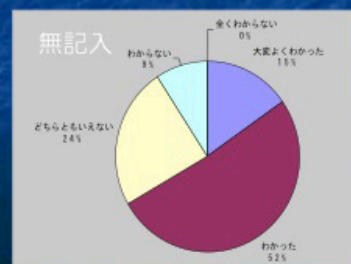
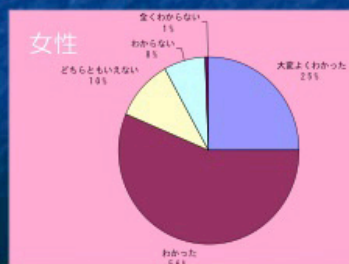
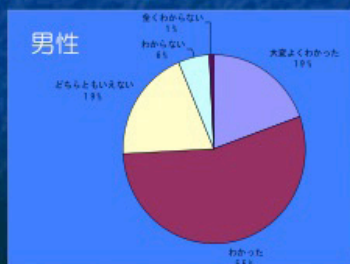


◇質問3

このイベントを通じてリニューアルの内容を理解していただけましたか？



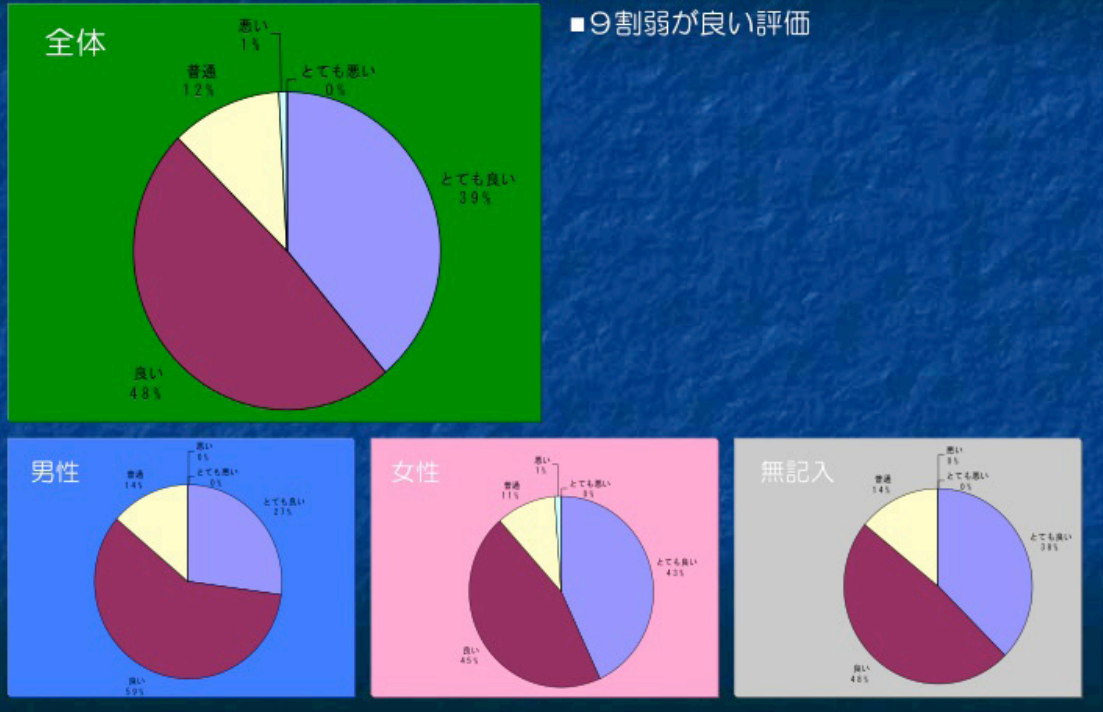
- イベントの実施によりリニューアル内容を理解した回答者が8割弱
- 女性の方が理解度が高い



◇質問4

リニューアルした駐車場について感想を教えてください

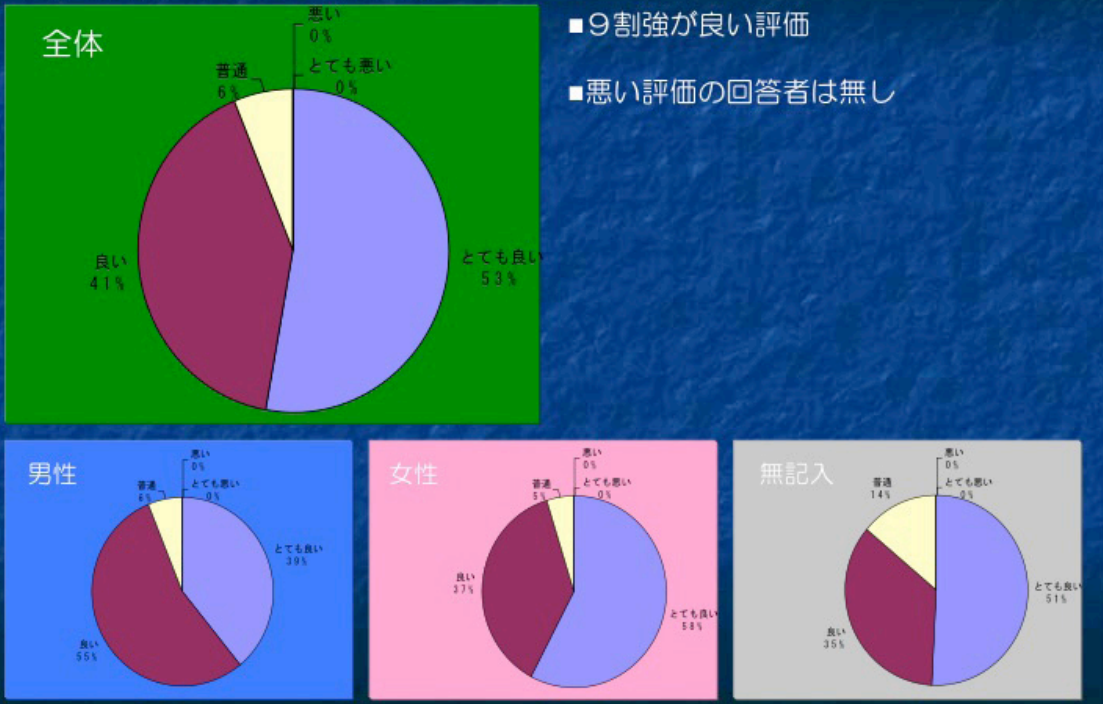
1) 全体の印象



◇質問4

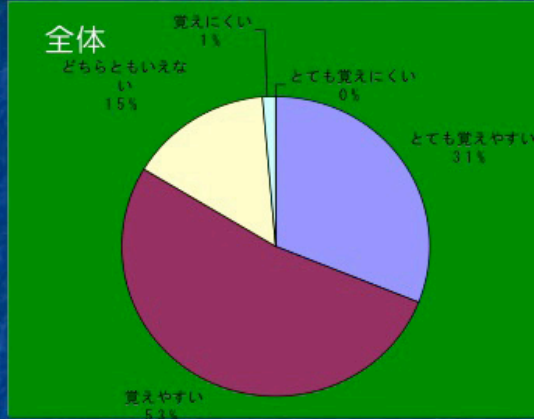
リニューアルした駐車場について感想を教えてください

2) 動物キャラクターの採用



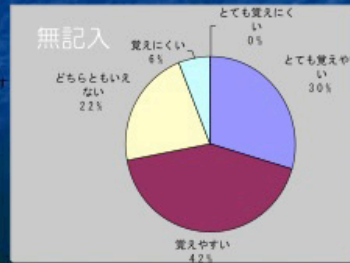
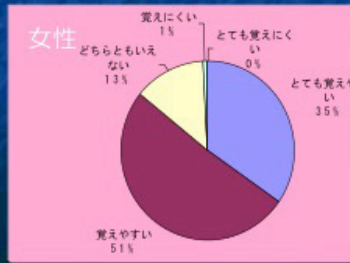
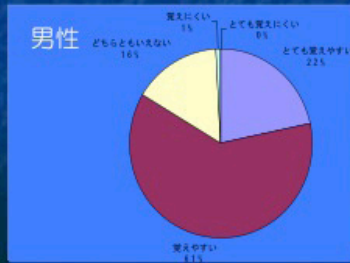
◇質問4

リニューアルした駐車場について感想を教えてください
3) 駐車した位置の覚えやすさ



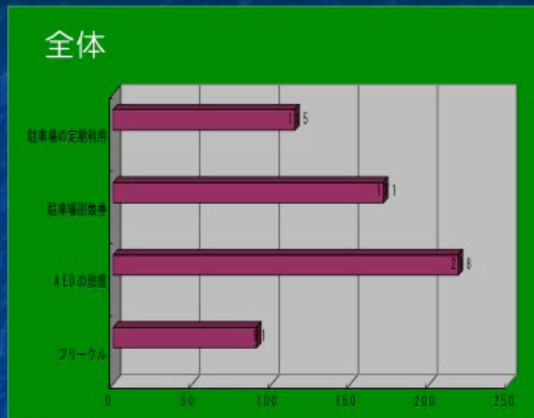
■8割強が良い評価

■「覚えにくい」と回答したのは8名



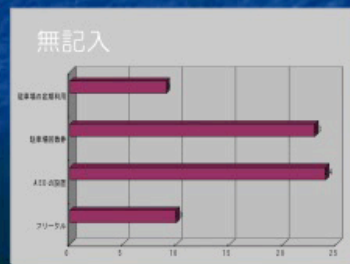
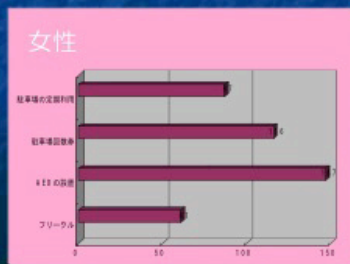
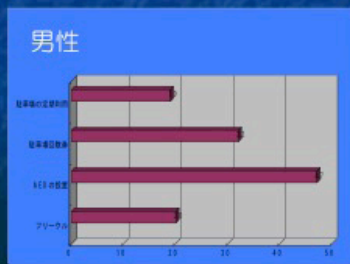
◇質問5

ご存知の駐車場サービスに○をつけてください（複数回答可）



■AEDの認知度が最も高い

■フリークム、定期利用に関しては認知度が低いため宣伝が必要



◇質問6

駐車場に欲しい設備やサービスがあったらお書きください

※複数回答のあったものを一部抜粋（詳細は別紙参照）

設備について

- 各階にトイレがあると良い
- 各階ごとのカート置場
- エレベーターの数が少ない

施設について

- 歩行者通路、駐車スペースをもう少し広くして欲しい
- 身障者スペースは1階にあった方が良い
- もう少し明るくして欲しい
- 他の階にも連絡通路があると良い

サービスについて

- クレジットカード、電子マネーを導入して欲しい
- 託児所があると良い
- 各階ごとのスタンプを設置すると良い

◇質問7

リニューアル、駐車場全般、イベント内容など、お気づきの点をご自由にお書きください

※複数回答のあったものを一部抜粋（詳細は別紙参照）

リニューアルについて

- 動物キャラクターがかわいい、わかりやすくなった
- 子供が覚えてくれるから嬉しい
- キャラクターが出来たことで上の階に行く楽しみが出来た
- トイレがきれいで明るくなって良かった
- 駐車場が明るく楽しい感じになった

イベントについて

- 子供も参加出来るイベントで良かった
- イベントによりリニューアルを知り興味を持った
- 緑と青の風船が良かった
- 学生さん作成の絵本がかわいい

その他

- 無料レンタサイクルはとても良い

1-9 情報発信基地としての駐車場活用

リニューアルを果たし、南1駐車場は使いやすく、親しみやすい地域の駐車場として一定の評価を得たと考えられる。しかし、駐車場はただ駐車するだけの施設ではない。見方を変えれば、交通の便が非常によく、集客率が非常に高い地域の中心となる施設である。特に、つくば市周辺では、車による移動が多いため、駐車場は必ず一度は立ち寄る場所であり、地域の交通機関の要であり、重要な都市施設であるといえる。

今回の改善案をまとめるにあたり、現地調査した際に、掲出されているポスター・広告類の多さに驚かされた。それだけこの駐車場は魅力的な情報発信基地であることを示している。

そこで、つくば都市交通センターとTCLは、駐車場の利点を活かし、より積極的に駐車場を利用することによって、交通機関・周辺地域の活性化、街づくりにも貢献する「情報発信基地としての駐車場」を目指すことになった。

1-10 タウンセンター機能と情報の整理

南1駐車場に周辺地域の情報をまとめ、つくばセンター周辺地域の情報発信地とする。つくばセンター地区を活性化させ、来訪者数とつくばセンター地区をつなぐ「タウンセンター」または「情報センター」としての機能を併せもつ駐車場を目指すことにした。

「駐車場から情報発信」をキーワードに、新たなインフォメーションボードの設置、案内表示の整理、さらに文化発信として市民ギャラリーの新設を企画した。

この計画に向けて、改めて2階エレベーターホールを中心に、掲示物について調査したところ、内容の優先度が異なる掲示物が混在しながら掲出されていることが分かった。

案内表示には、内容の重要度によって、掲示期間を変更する必要がある。例えば、公的機関（財団法人等）から出される駐車場管理規則、安全管理表示は、重要度が高く、利用者すべての人に必要である。そのため、見やすい場所に、長期的固定的に掲示されていなくてはならない。

次に、公的機関（図書館等）や周辺の商業施設などから出される催事の紹介や、ある時期に限定されたお知らせは、重要度、情報の信頼度は中レベルであ

り、中期的（2~3ヶ月）に掲出し、多くの人の目に触れるようにする。

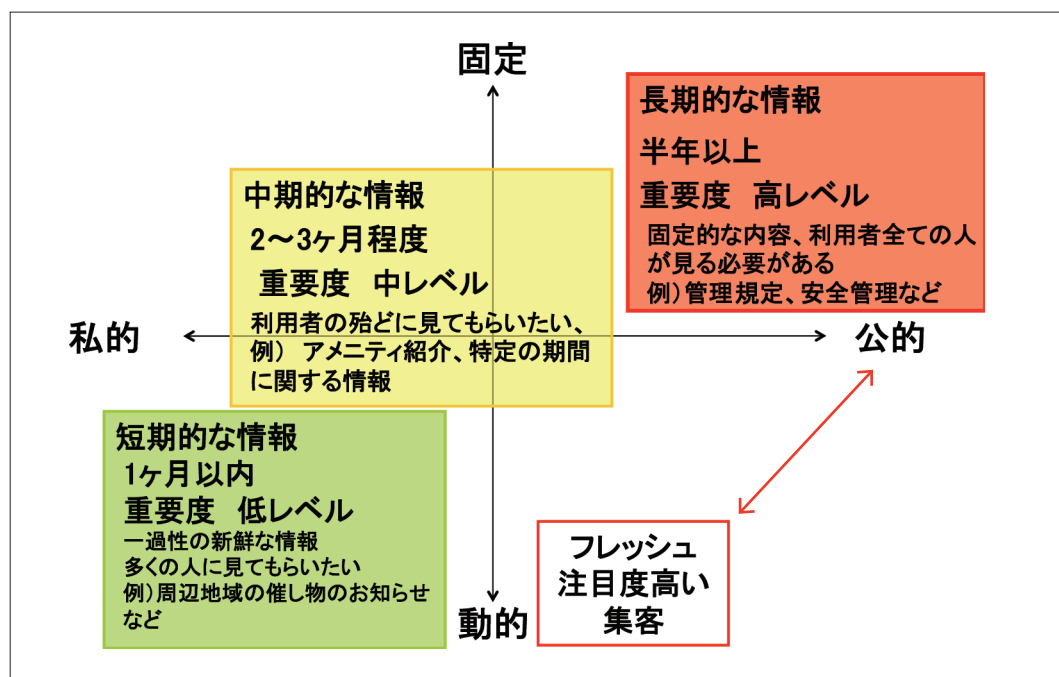
次に、民間団体や商業施設、個人から発信される周辺地域の情報、例えば「フリーマーケットのお知らせ」などのポスター類は、短期的（1ヶ月程度）で変更できるような内容が多い。重要度は低いが、新鮮な情報であり、見る人の関心を集めるには効果的である。

情報の内容は、これらの分類に従って、掲出する場所を決定した。駐車場2階を中心に、新たにインフォメーションボードを計6台を新設し、それぞれにふさわしい情報を掲出することにした。

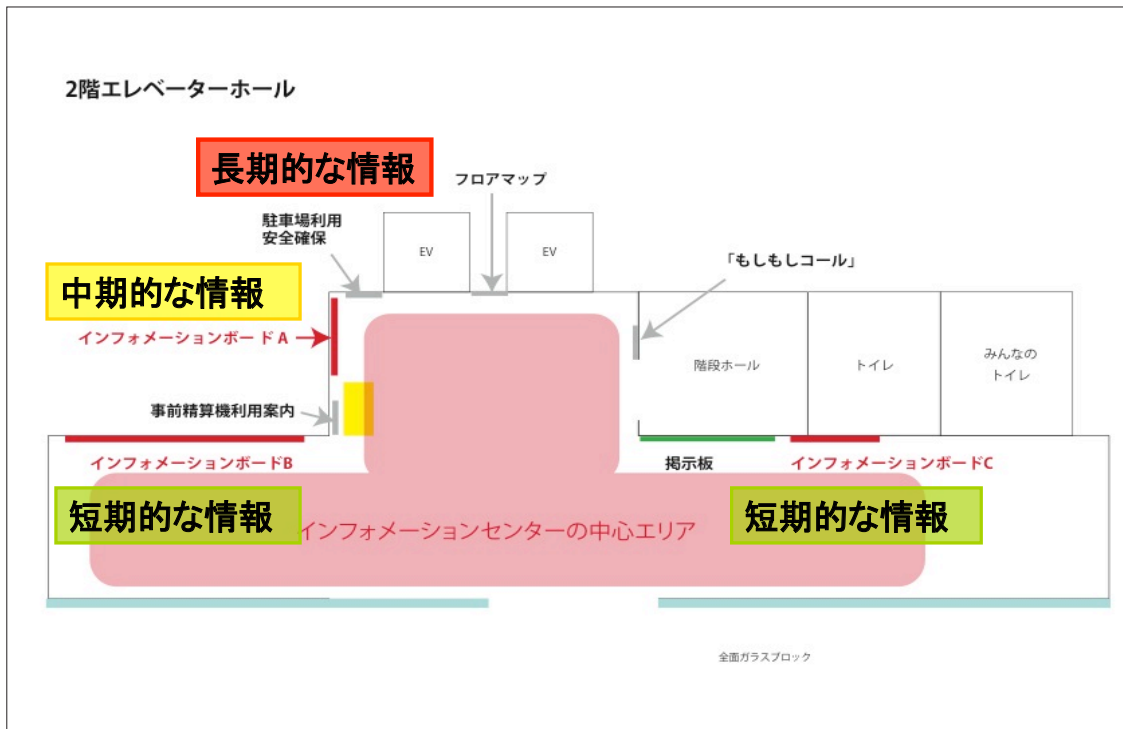
重要度の高い情報は、全ての人に見てもらふ必要があるため、最も人が目にしやすいエレベーターの横に固定的に設置することにした。

周辺地域にある図書館、美術館、大学などの公的でやや中期的な情報は、やはり集客が多く、人の目に触れやすい場所に設置するべきであると考えた。また、エレベーター脇にある廊下は、集客度は高いが、エレベーターホールからはやや離れるため、固定的な内容の、駐車場からのお知らせや、周辺案内図を表示することにした。更新ポスターは筑波学院大学が担当している。

民間や個人からのお知らせについては、人通りが多く、商業施設へ通り抜ける廊下に設置することにした。また、つくばセンター地区活性化協議会のパネルも設け、催事案内を掲出してもらふことにした。これは来街者の関心を集め、華やいだ雰囲気を作るためである。



場内掲示物の重要度と掲示期間



エレベーターホール周辺の掲示物計画



リニューアル前のエレベーターホール

**短期的な情報
注目を集めるもの。市民からの情報発信、つくせんニュースなど**



フレッシュ

フォーマットを決めて、事務局で書き込み。申し込みと物の受け渡しは事務局を通じて行う。

A5サイズのチラシを約2週間無料で掲示。月曜日に更新。

センター地区、つくば都市交通センターからのお知らせ。女視プロおすすめのランチ、新商品などの紹介地図。

インフォメーションボードの掲示物提案



エレベーターホールの掲示物提案

PR 提案 つくせんインフォメーションボード案



イベント
カレンダー
3ヶ月分
A1版

つくばセンター地区協議会の情報を集約させる

「つくせんインフォメーションボード」デザイン案

PR 提案 インフォメーション 都市交通センタースペース利用案



現状

駐車場の利用案内とつくせんのイベント
内容が掲示されているが、場としての
一体感に欠け、目立たない。



改善案

周囲をつくば都市交通センターのシンボルカラーで塗布し、目立たせる。
対面している後方の壁も利用し、インフォメーションスペースを演出する。

インフォメーションデザイン案

PR 提案 2階トイレ前



現状

駐車場関連のお知らせが掲示されているが、気がつく人は少ない。

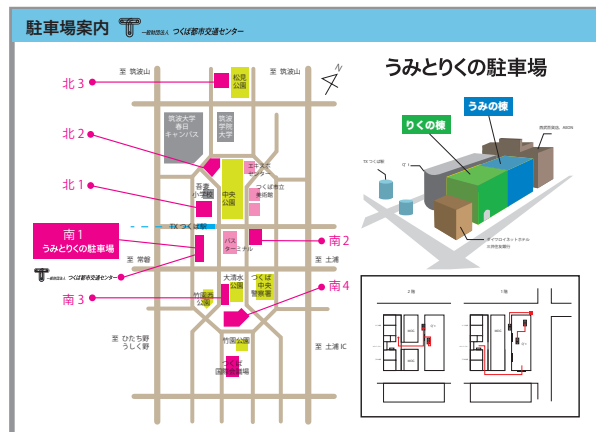
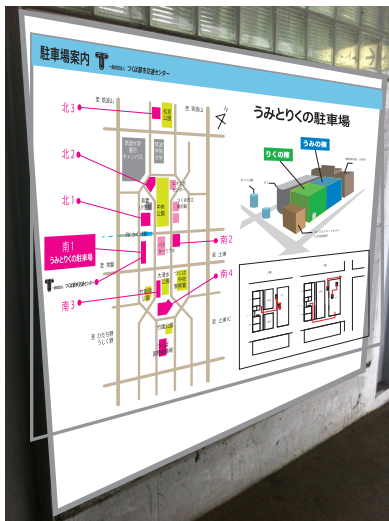


認知度は高いが、人が意図的に足を止める場所ではない。

改善案 →消火器などを外し、周囲を白く塗り直す。右と左の2面をセットとして考え、展示内容を企画し、注目度をあげる。

2階トイレ前の掲示物プラン

PR 提案 2階トイレ前 (左側)



- 1 都市交通センターの駐車場案内
- 2 うみとりのく駐車場全体図
- 3 駐車場からつくば駅までの詳細地図

2階トイレ前の掲示物プラン 周辺地図のデザイン案

1-11 市民ギャラリー

駐車場の1階には「プラザ・パフォーマンス」という広場が設けられ、市民活動の場として、また利用者の憩いの場として利用されてきた。広場は広く、上部が吹き抜けになっており、開放的な空間である。周辺には自動販売機やベンチなどが置かれ、利用者が自由に休憩することができる。しかし、コンクリート打ちっ放しの壁面が寂しげな雰囲気も感じられた。

プラザ・パフォーマンスは駐車場の中心にあり、人通りも多い。そこでこの広場を活用するためにリニューアルすることになった。

新名称は「プラザ・パフォーマンスギャラリー」として、新しいロゴマークを提案し、また財団のシンボルカラーである水色を基調とし、流れるような爽やかなロゴにデザインした。

以前は、壁面にコルクボードが固定されており、ポスター類が掲出されていた。ここに大型の跳ね上げ式ガラスボードを設置し、ギャラリーとして市民の作品を展示できるようにした。

また、右側のフリースペースには、季節のテーマに沿ってデザインした天井からタペストリーを吊るすなどして、華やかさを演出する。このタペストリーは筑波学院大学の学生が担当する予定である。

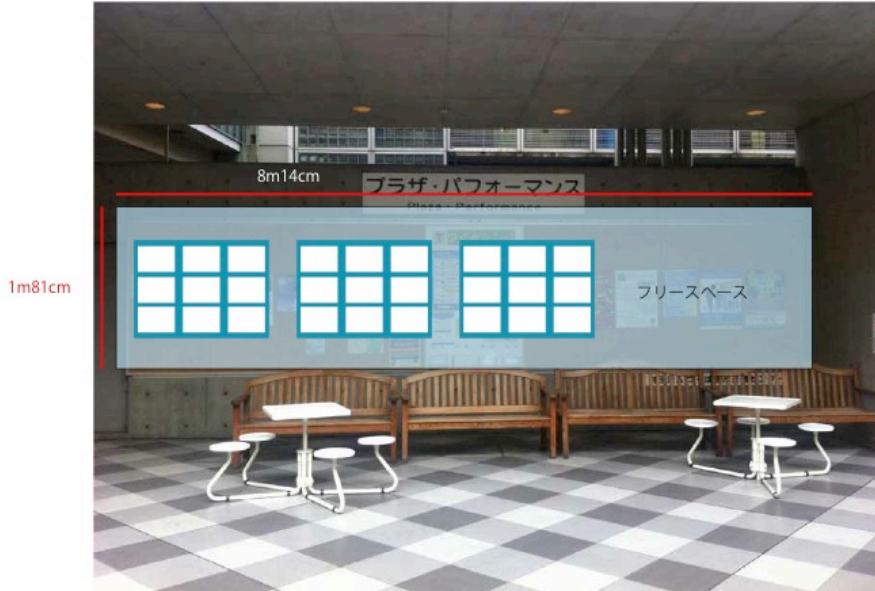
手前の広場には、竹や生け花を用いたオブジェを展示し、季節感を演出する。また生け花教室や七夕飾りなど、季節に応じたイベントを行い、市民参加型のギャラリーとすることにした。

市民ギャラリーは2012年10月にリニューアルオープンした。ギャラリースペースには、オープン時には地域の幼稚園の園児の作品が並び、季節の生け花が飾られた。秋をイメージしたイラストレーションのタペストリーが壁面を飾った。イベントには一般財団法人つくば都市交通センター理事長を始め、地域の幼稚園長、筑波学院大学の教員・学生が参加し、華やかに執り行われた。



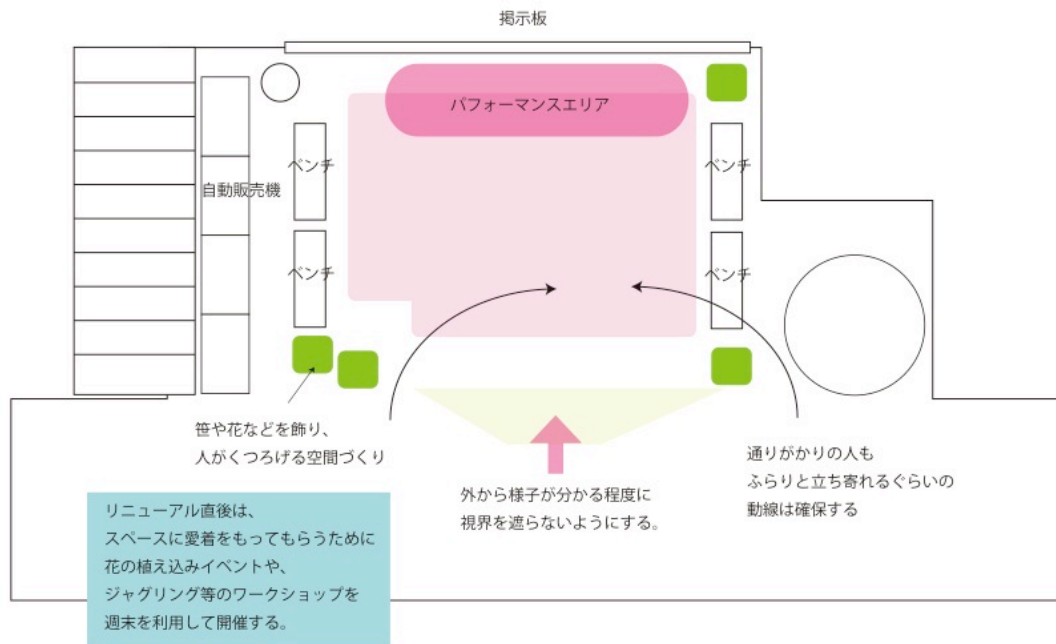
「プラザ・パフォーマンス ギャラリー」ロゴマークと看板デザイン

PR プラザパフォーマンス提案



はねあげ式 B0パネル 3台 幅1,548×縦1,122×厚さ44.5(mm) 有効画面寸法1456×1030(mm)
1台につき、画用紙八つ切り (271mm×391mm) が最大 9 枚掲示可能。

プラザ・パフォーマンス・ギャラリーのボード設置案



プラザ・パフォーマンス・ギャラリーの活用案



プラザ・パフォーマンス・ギャラリーのオープニングイベント



保育園児の作品が掲示された



タペストリーの展示



プラザ・パフォーマンス・ギャラリーの活用例 七夕飾り 2013年8月

南 1 駐車場資料集

調査

フロアごとのカラーリング

各階ごとに色分けがなされている。1988年開業より築25年のため、色彩の経年劣化が見受けられる。



駐車場車室（北棟 1B）



駐車場車室（北棟 2A）



駐車場車室（北棟 3B）



駐車場車室（北棟 4A）



駐車場車室（南棟 5C）



駐車場車室（南棟 6C）

車室のアルファベット表記

各フロアごとの6色の色分け施している（R階は色分けは無し）。



駐車場車室（北棟 4A）



駐車場車室（南棟 4B）



駐車場車室（南棟 4C）



駐車場車室（南棟 4D）

調査

車室壁面

壁面表示に階層の表示がない。矢印が大きすぎ、壁面表示前にワンボックスカーなどが駐車すると、視認性が悪くなる。



車室壁面（北棟 4A）



車室壁面 駐車車両あり（北棟 4A）

R 階の調査

R 階には、階数表記や、南北の表記もないため、利用者が迷いやすかった。



R 階壁面の案内表示（北棟）



R 階壁面の案内表示（北棟）



R 階壁面の案内表示（南棟）



R 階壁面の案内表示（南棟）



R 階エレベーターホール外側壁面の案内表示



R 階エレベーターホール外側壁面の案内表示

調査

通路案内表示

通路の案内表示は、小さく視認性が悪かった。また、情報の重複及び、館内広告がところどころに点在していた。



駐車場通路 (2F)



駐車場通路多目的トイレ前 (2F)



駐車場通路掲示板 (2F)



駐車場通路エレベーター案内表示 (6F)

エレベーターホール

エレベーターホールは、2フロア制の南1 駐車場において、中間地点に位置する。



エレベーターホール (2F)



エレベーターホール 案内表示 (6F)



エレベーターホール案内表示 (6F)

調査

階段の表示調査

エレベータを使用しない利用者による、階段利用の頻度が高い。階段の表示により、階数を確認する利用者は多い。



階段案内表示 (RF / 6F)



階段内案内表示 (6F / 5F)



階段扉表示 (6F)



階段入口 (6F)

アメニティに関する調査

フリークルつくばで無料レンタサイクル「フリークルつくば」の案内表示は、あまり目立たないため、利用者が少ない。



トイレ (2F)



多目的トイレ (2F)



フリークル無料レンタサイクル案内表示 (1F)









フリークル無料レンタルサイクル自転車 (1F)

問題提起

フロアごとのカラーリング

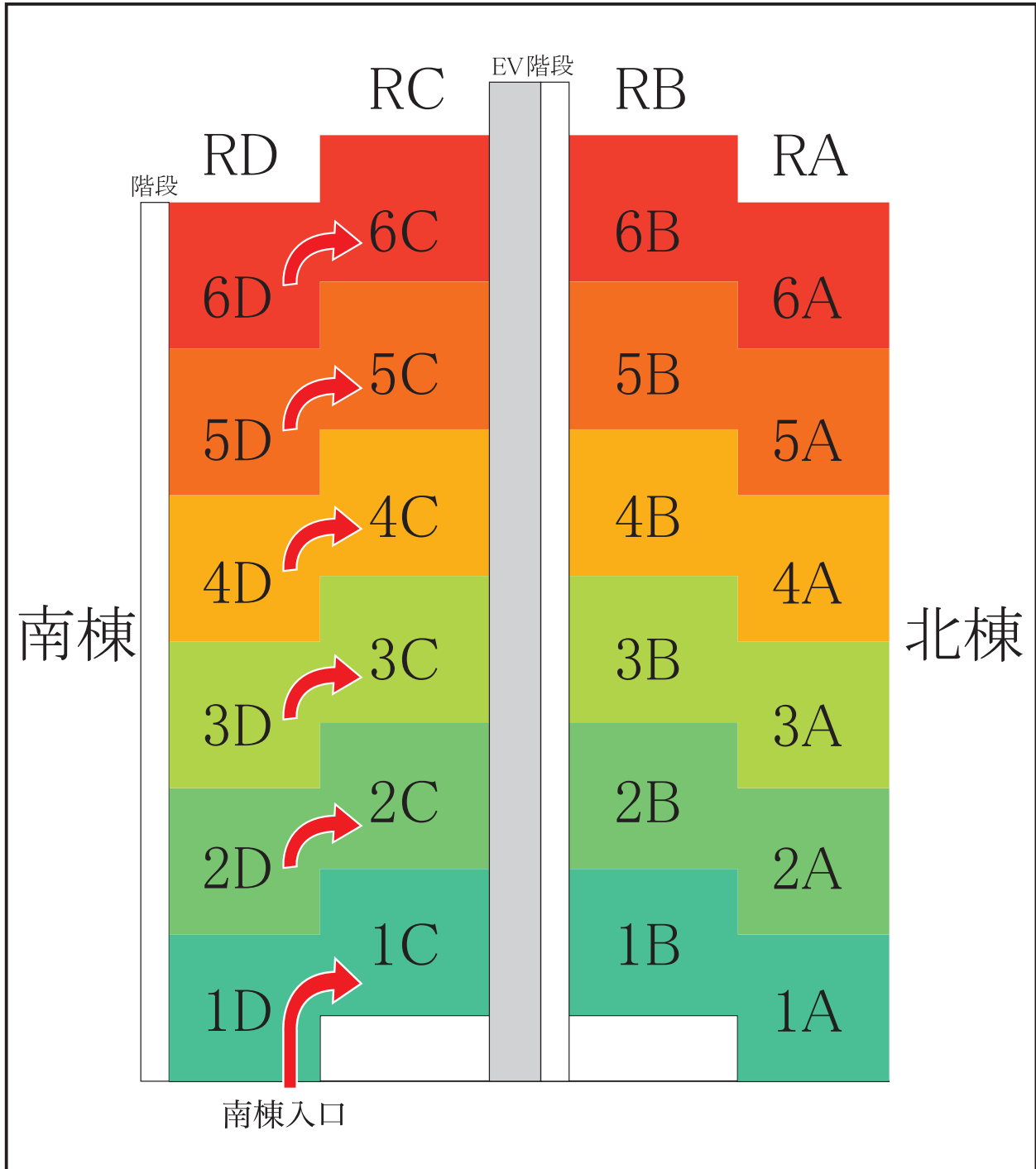
各階ごとに色分けがなされているが、1988年開業より築25年のため、色彩の経年劣化が見受けられる。

RD	RC	RB	RA	
6D	6C	6B	6A	
5D	5C	5B	5A	
4D	4C	4B	4A	
3D	3C	3B	3A	
2D	2C	2B	2A	
1D	1C	1B	1A	
北棟		南棟		

南1駐車場各階層ごとの色分け

アルファベット表記と進行順の逆行

南棟の階層を上がると、DからCへアルファベットが逆行する



南棟におけるアルファベットの逆行

問題提起

メインカラーと各階層のカラーの混在
階層の色分けが効果的に発揮できない



車室梁の階層色と外壁塗装色の混在



車室梁の階層色と外壁塗装色の混在



柱表示と通路内柱塗装色の混在（北棟 2F）



柱表示と通路内柱塗装色の混在（南棟 6F）

R階への配色がされていない

R階への配色がされていないため、フロアごとの色分けから除外される。



R階車室壁面（南棟）



R階車室壁面（北棟）



R階エレベーターホール外側



R階エレベーターホール

問題提起

車室壁面に階層表示がされていない

利用者が、降車時に階層を覚える機会が少ない



車室壁面案内表示（北棟 4F）



車室壁面案内表示（南棟 6F）



車室壁面案内表示（北棟 3F）



R 階車室壁面（南棟）

通路案内表示が小さい

通路の案内表示が小さいため、視認性に乏しい。



通路案内表示 (南棟 1A)



通路入り口案内表示 (北棟 3D)



エレベーター前通路案内表示 (6F)



エレベーター前案内表示 (6F)

問題提起

車室柱の案内表示

表示が小さく、見落としの原因になっている。



車室柱案内表示 (4A)



車室柱案内表示 (4A)



車室柱案内表示 (4C)



車室柱案内表示 (6A)

エレベーター内の案内表示

エレベーター内に連絡通路などを示したフロアマップがないため、初めての利用者が迷いやすい



エレベーター室内



エレベーターの注意表示



エレベーター行き先ボタン

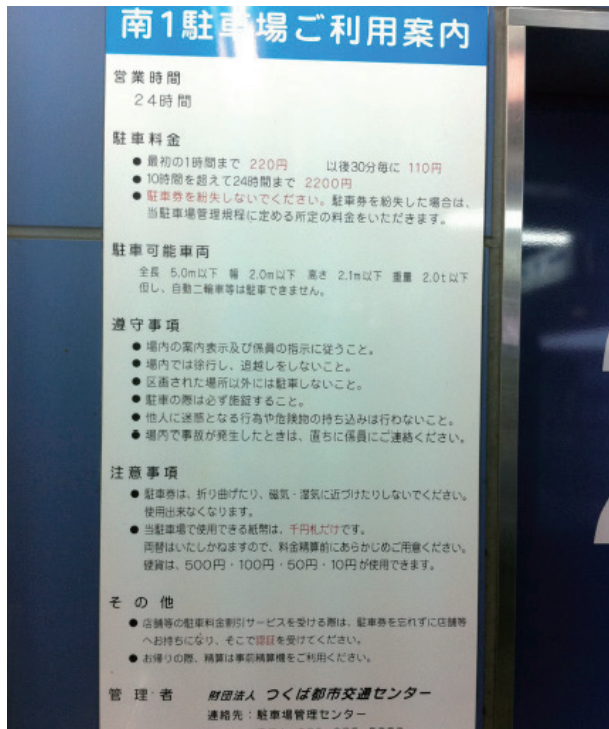


エレベーター室内パネル表示

問題提起

情報の重複及び重要度の混在

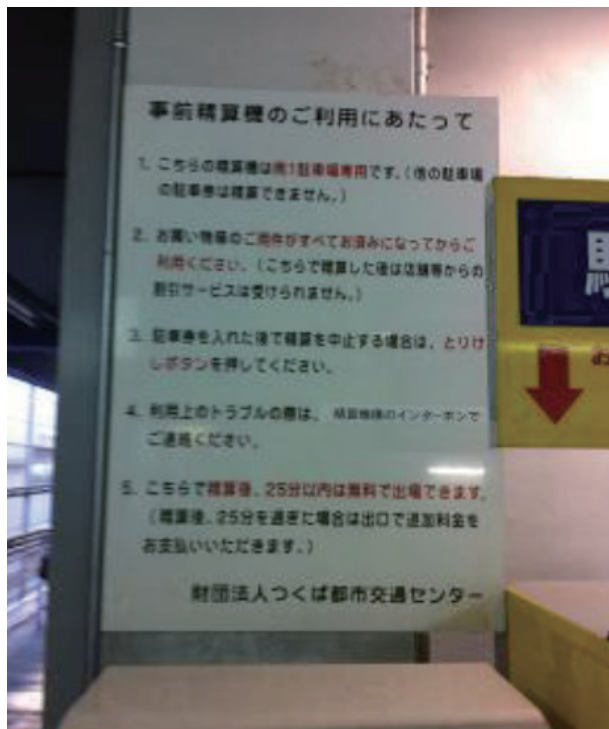
同じ内容のボードが場内のさまざまな場所に何箇所にも設置されている。
利用者の見落としにつながる



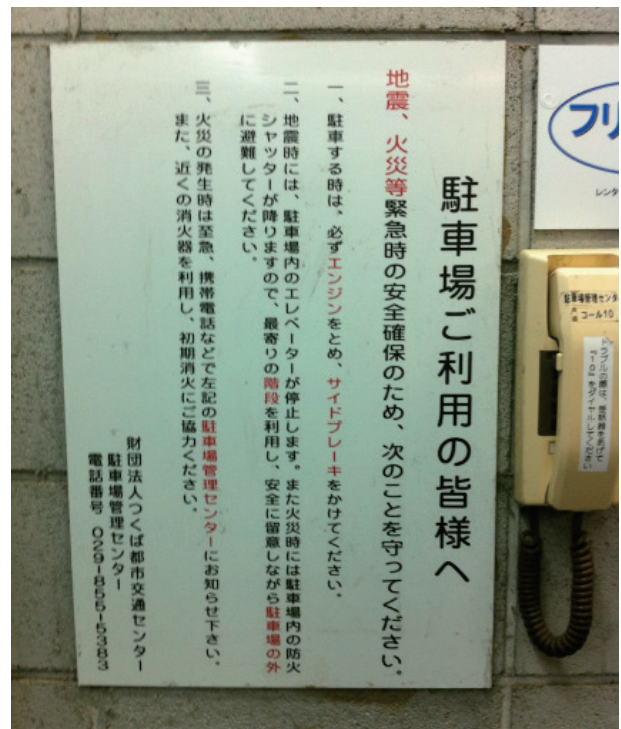
利用案内表示 (2F エレベーターホール)



利用案内表示 (2F 南棟)



事前精算案内表示 (2F エレベーターホール)



緊急時案内表示 (2F エレベーターホール)

南1 駐車場ニックネームおよびロゴマーク

マリンスブルーカラーの海の動物からなる「うみの棟」と、フォレストグリーンカラーからなる「りくの棟」を合わせ、「うみとりくの駐車場」のニックネームは誕生した。

うみとりくの駐車場

■ DIC 181 (つくば都市交通センターカラー)

うみとりくの駐車場

■ K 100

うみとりくの駐車場ロゴ

うみの棟

■ DIC 2591

うみの棟

■ K 100

うみの棟

■ DIC 2591

うみの棟ロゴ

りくの棟

■ DIC 572

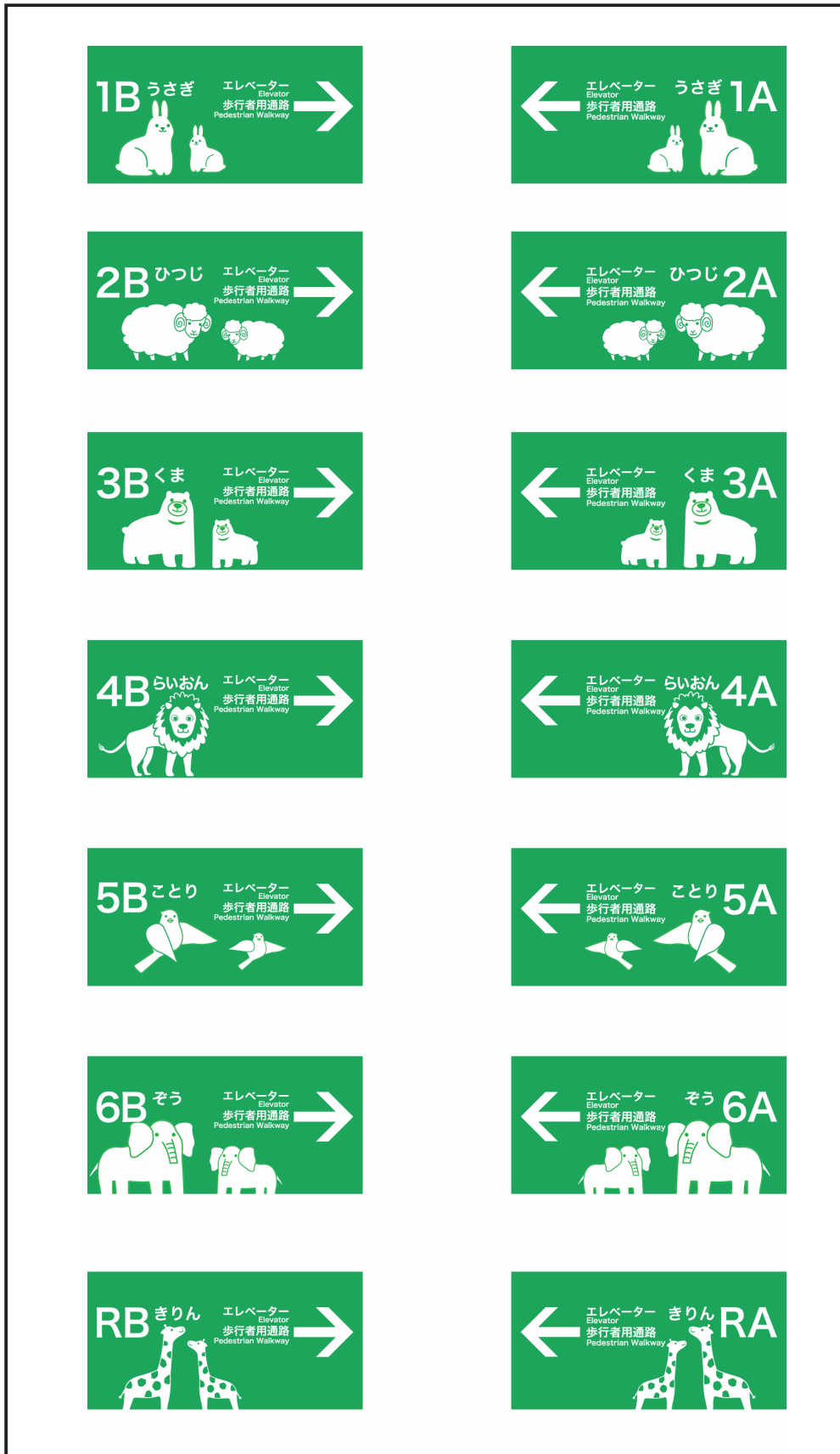
りくの棟

■ K 100

りくの棟

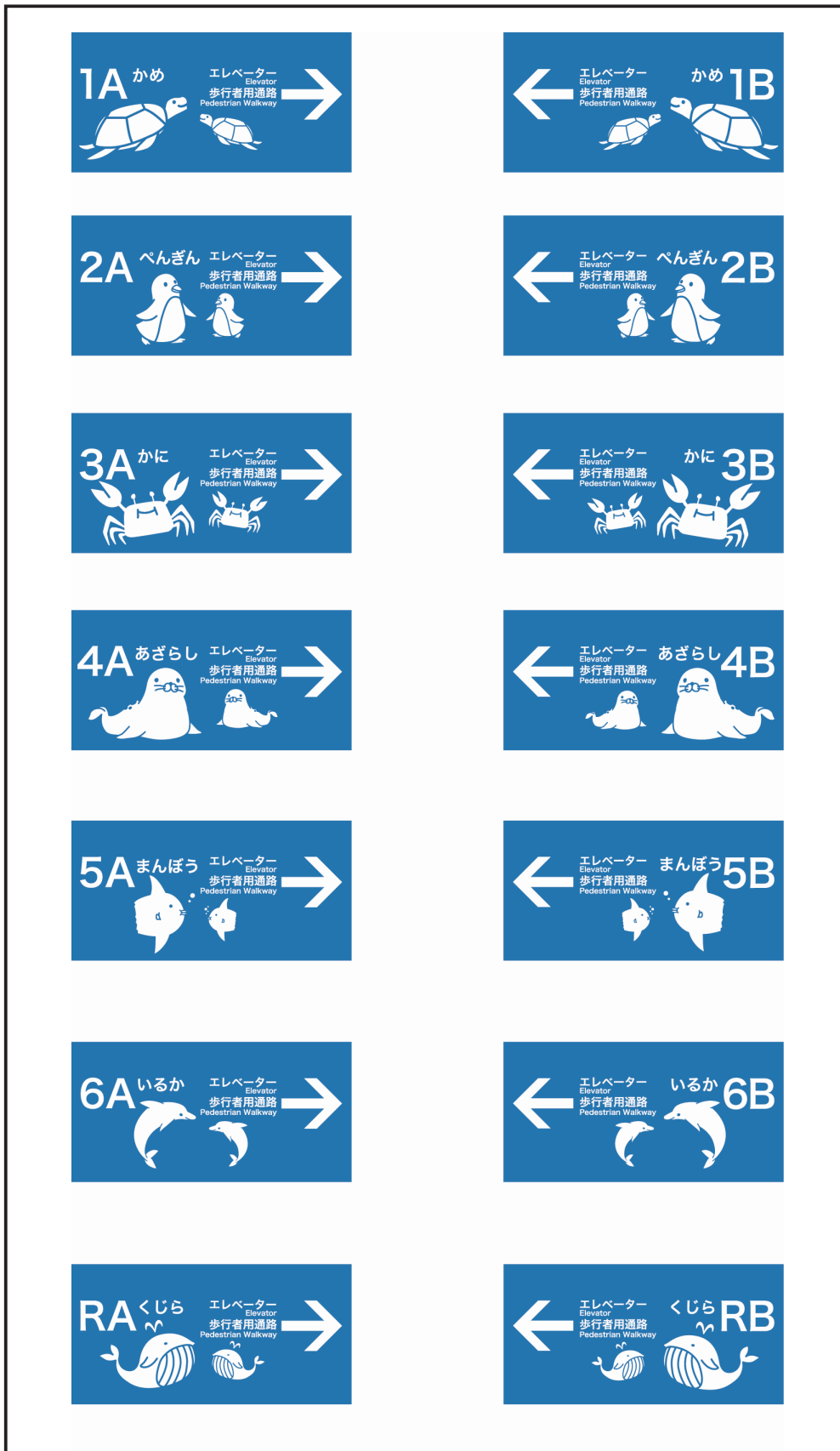
■ DIC 572

りくの棟ロゴ



車室デザイン (りくの棟)

車室壁面表示デザイン

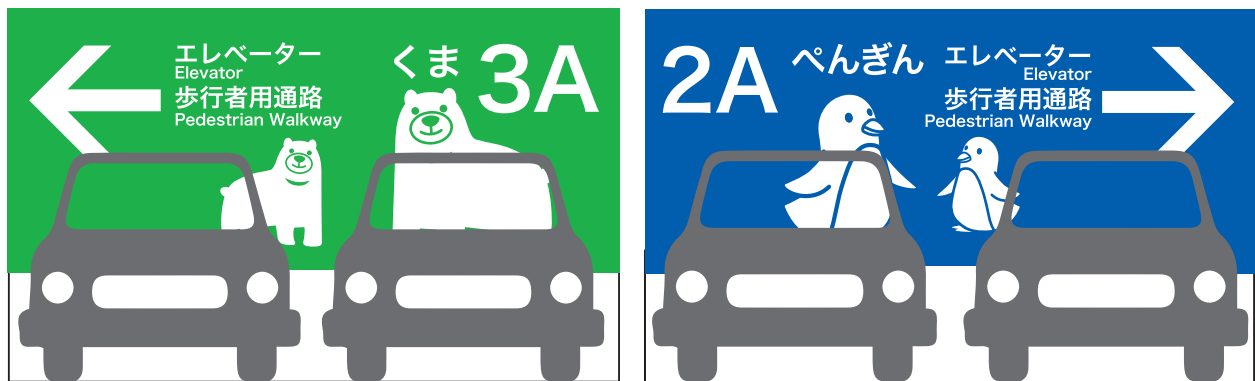


車室デザイン (うみの棟)

車室壁面表示



車室壁面寸法



車室レイアウト例（りくの棟）

車室レイアウト例（うみの棟）

材質 : アルミ複合板 t=3mm デザインシート貼り

寸法 : W4,400mm × H2,200mm

数量 : 52面 (2面 × 4フロア × 6層 + 4面)

色番号 : りくの棟 (北棟) DIC572 (C=80, M=0, Y=100, K=0)

うみの棟 (南棟) DIC641 (C=100, M=60, Y=0, K=0)

パネル下塗装

寸法 : W4,400mm × H800mm

数量 : 52面 (2面 × 4フロア × 6層 + 4面)

色番号 : FN-95

車室壁面表示施工後（うみの棟）



車室壁面（うみの棟 6A）



車室壁面（うみの棟 2A）

車室壁面表示施工後（うみの棟）



車室壁面（りくの棟 6B）



車室壁面（りくの棟 5A）

車室壁面表示施工後（駐車あり）



車室壁面（りくの棟 1B）



車室壁面（うみの棟 3B）

車室壁面表示施工後 (R 階)

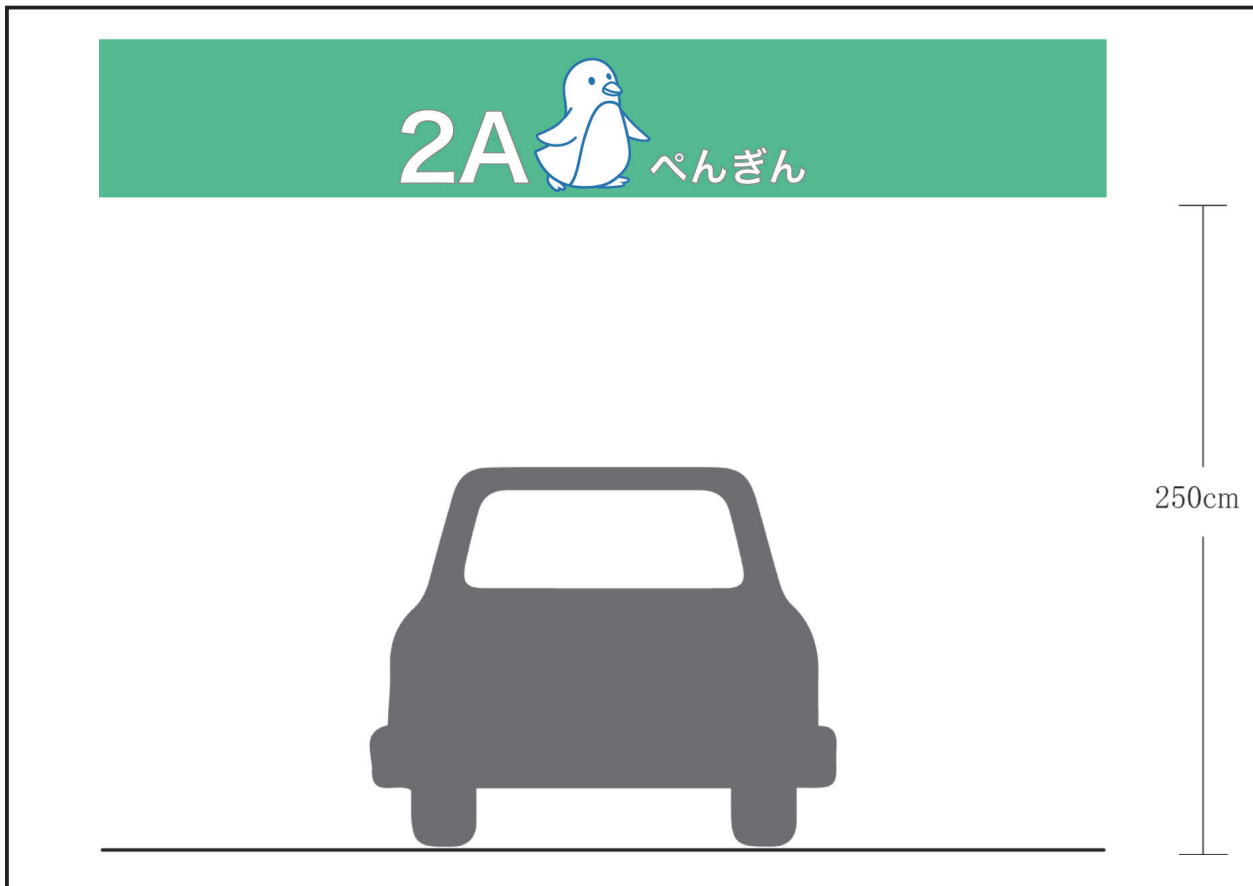


車室壁面 (りくの棟 RA)



車室壁面 (うみの棟 RA)

車室梁表示



車室梁レイアウト例

施工方法 : 塗装 (合成樹脂エマルジョンペイント)

- ①下地ケレン・清掃
- ②パテによる割れ・欠けの補修
- ③下塗り 1 回；水性シミ止めシーラー
- ④上塗り 2 回 (場所によっては 3 回)；合成樹脂エマルジョンペイント

寸法 : W 約 1,250mm × H 約 300mm

数量 : 240 面 (10 面 × 4 フロア × 6 層)

色番号 (日本塗装工業会) : 1 階 F45-50T、2 階 F45-70P、3 階 F29-80V、
4 階 F22-80V、5 階 F19-70V、6 階 F07-40X



うみの棟車室梁表示

車室梁表示デザイン



りくの棟車室梁表示

車室柱表示施工後

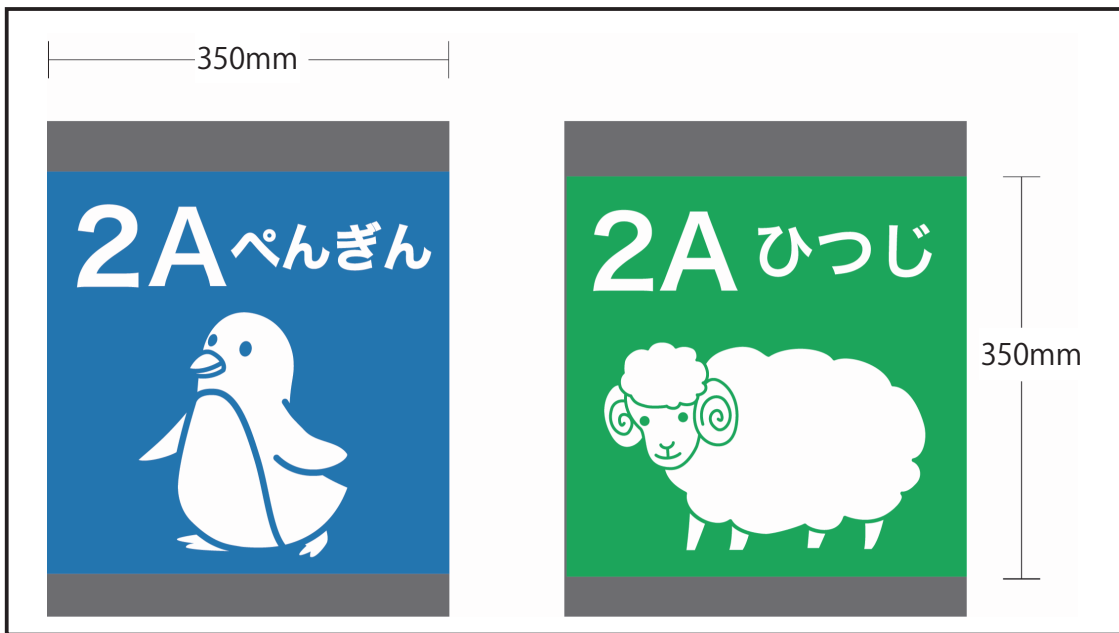


車室梁表示（りくの棟 6A）

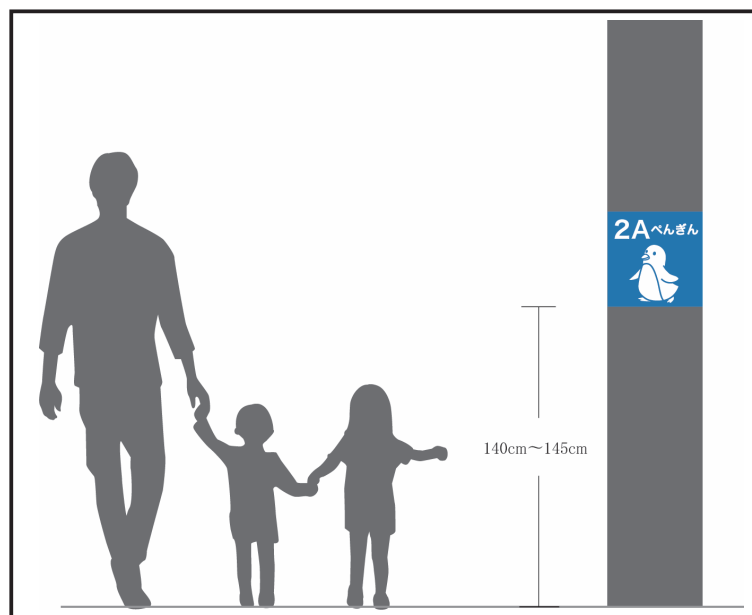


車室梁表示（りくの棟 6B）

車室柱表示



車室柱表示寸法



車室柱表示例

材質 : アルミ複合板 t=3mm デザインシート貼り

寸法 : 歩行者通路方向 : W350mm × H350mm

車室方向 : W350mm × H450mm

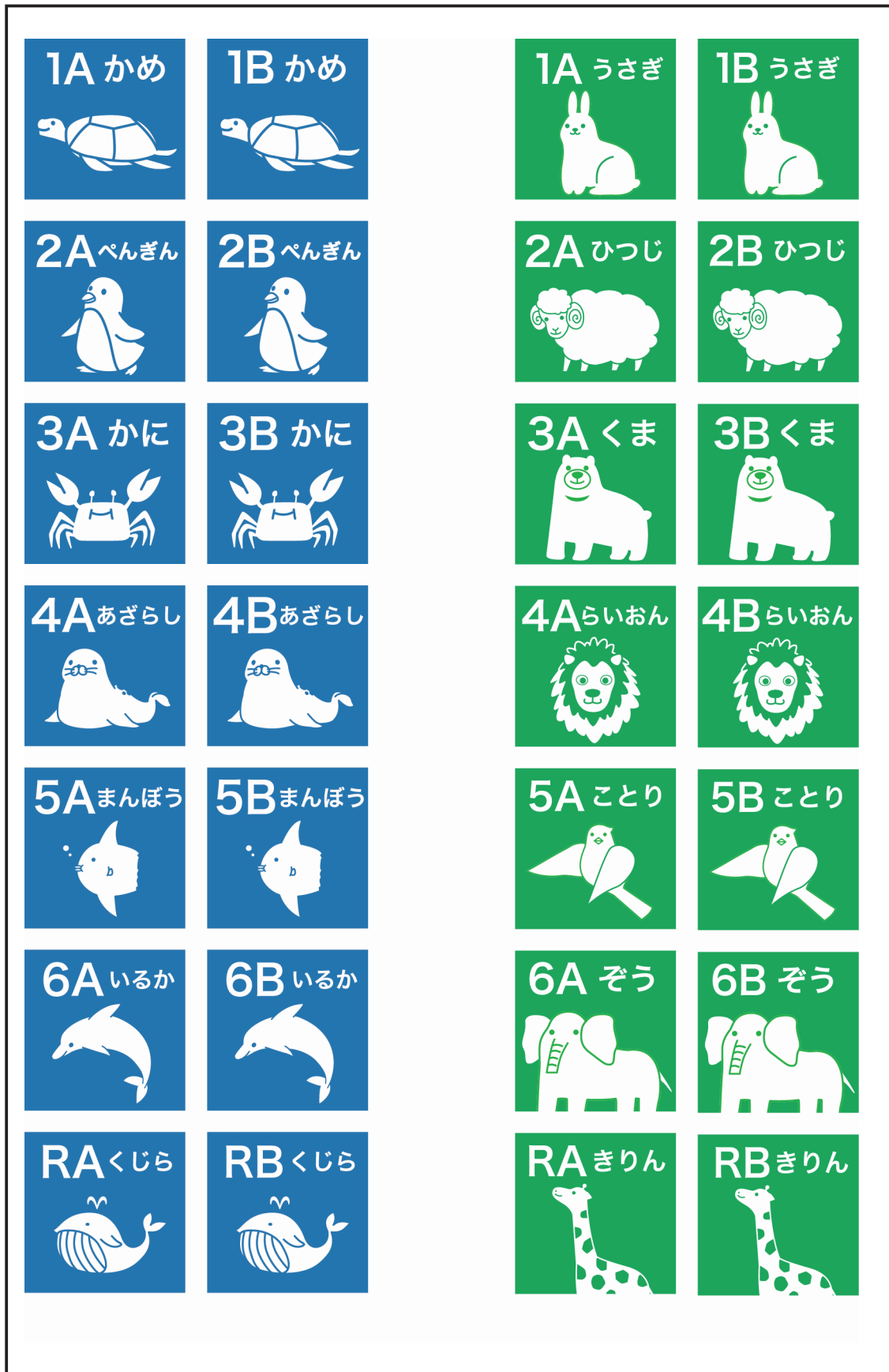
数量 : 歩行者通路方向 : 24 面 (1 面 4 フロア)

車室方向 : 24 面 (1 面 4 フロア)

色番号 : りくの棟 (北棟) DIC572 (C=80, M=0, Y=100, K=0)

うみの棟 (南棟) DIC641 (C=100, M=60, Y=0, K=0)

車室柱表示デザイン



車室柱表示デザイン

車室柱表示施工後



車室柱表示 (りくの棟 1B)



車室柱表示 (りくの棟 3A)

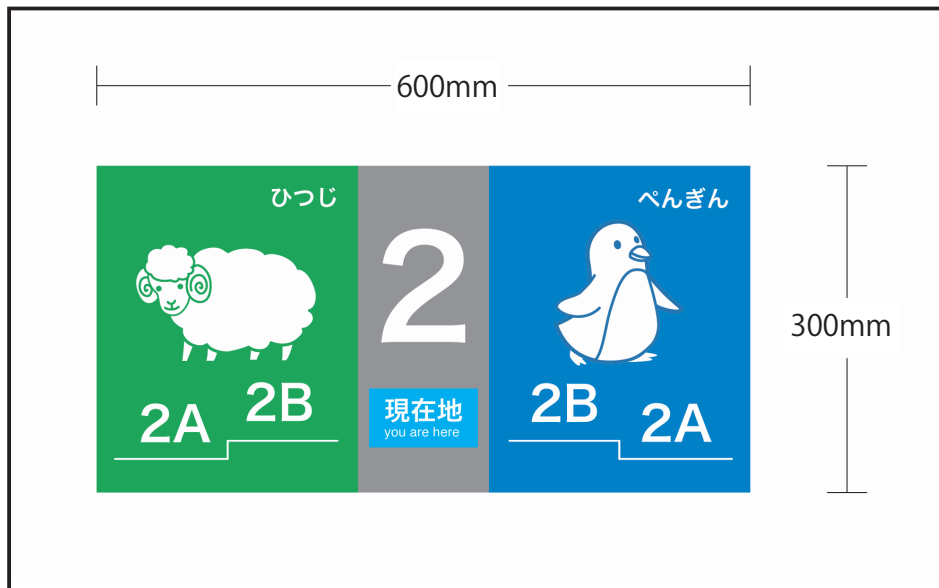


車室柱表示 (うみの棟 1B)

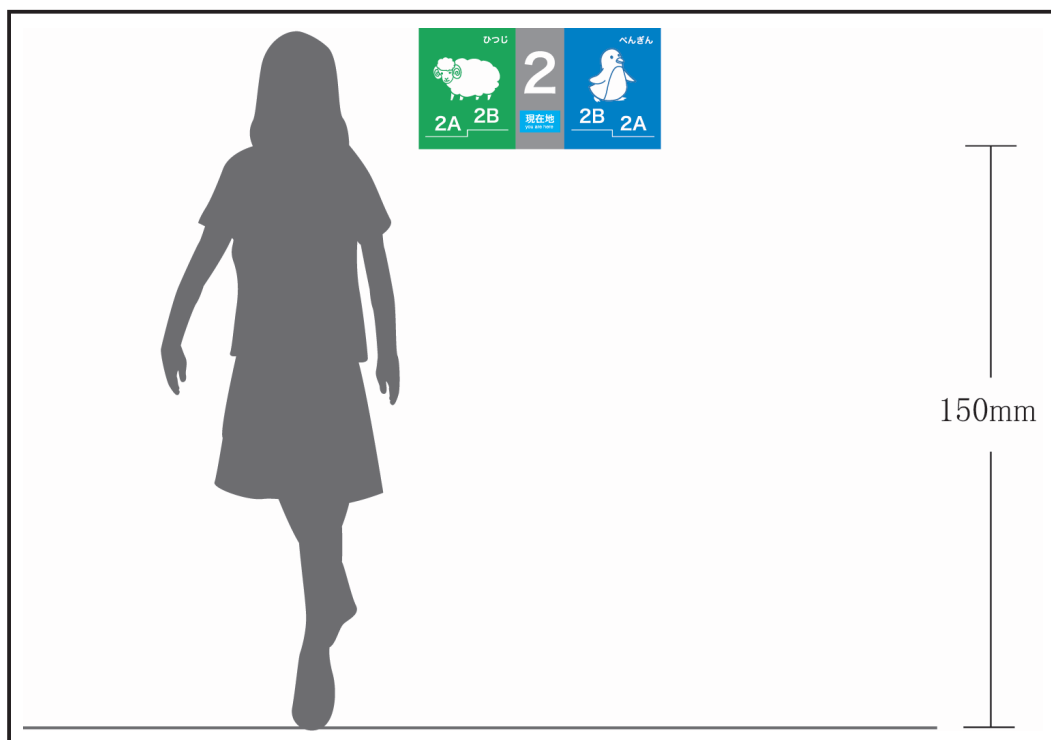


車室柱表示 (うみの棟 5B)

エレベーター正面表示



エレベーター正面表示寸法



エレベーター正面前表示施工例

材質 : アルミ複合板 t=3mm デザインシート貼り

寸法 : W600mm × H300mm

数量 : 7面 (1面 × 7層)

色番号: りくの棟部分 (北棟) DIC572 (C=80, M=0, Y=100, K=0)

うみの棟部分 (南棟) DIC641 (C=100, M=60, Y=0, K=0)

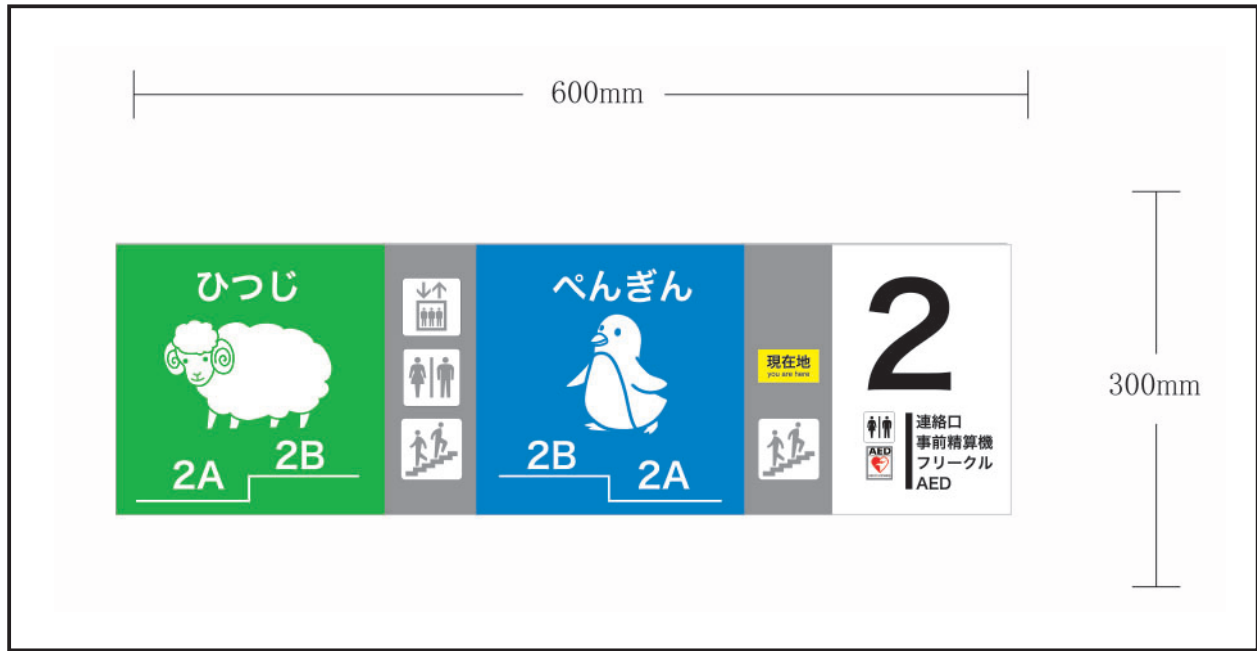
現在地部分 シアン (C=100, M=0, Y=0, K=0)

エレベーター正面表示デザイン

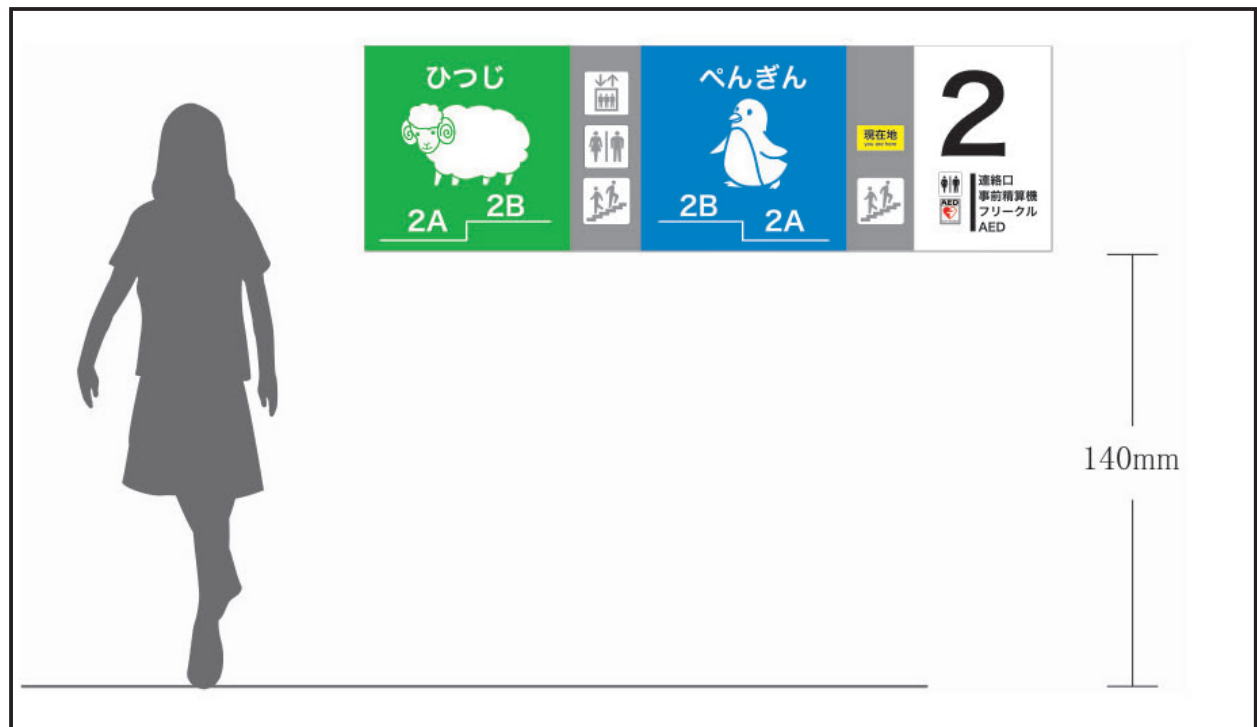


エレベーター正面表示デザイン

通路表示施工例



通路表示寸法



通路表示寸法

通路表示施工後



通路表示施工後 (2F)



通路表示施工後 (3F)

エレベーターホール

エレベーターホール周辺の色彩の統一

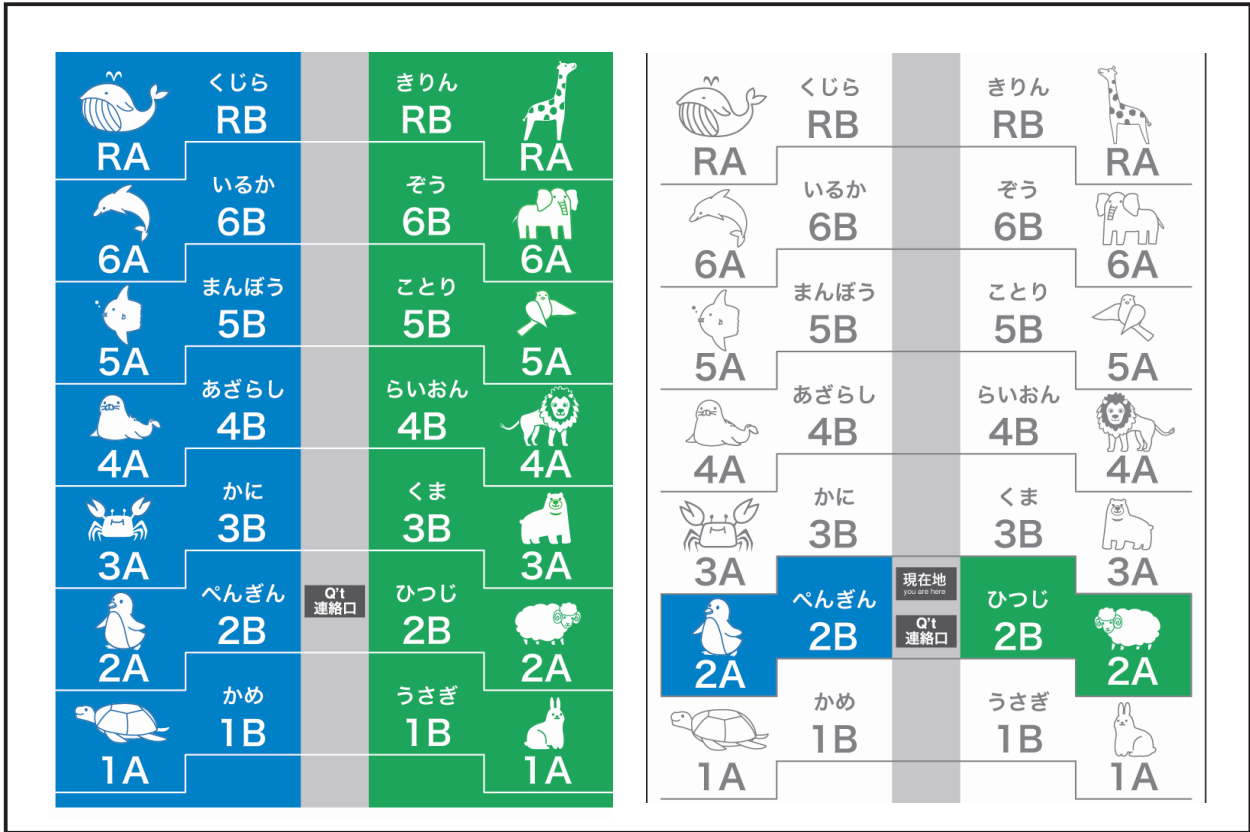


エレベーターホール（2F）



エレベーターヨコインフォメーションボード

エレベーターフロアマップ



エレベーターフロアマップデザイン



エレベーターフロアマップ施工後 (4F)

「もしもしコール」案内表示



「もしもしコール」案内表示（1F～5Fにて使用）



「もしもしコール」案内表示（RFにて使用）

「もしもしコール」案内表示施工後



「もしもしコール」案内表示施工後 (1F ~ 5F)

材質 : アルミ複合板 t=3mm デザインシート貼り

寸法 : W1,100mm × H1,000mm

数量 : 7面 (1面 × 7層)

色番号 : キャラクター部分 シアン (C=100, M=0, Y=0, K=0)

アメニティ

トイレのリニューアル



施工後トイレ（入り口）



施工後トイレ（内部）

多目的トイレ「みんなのトイレ」リニューアル



「みんなのトイレ」施工後（入り口）

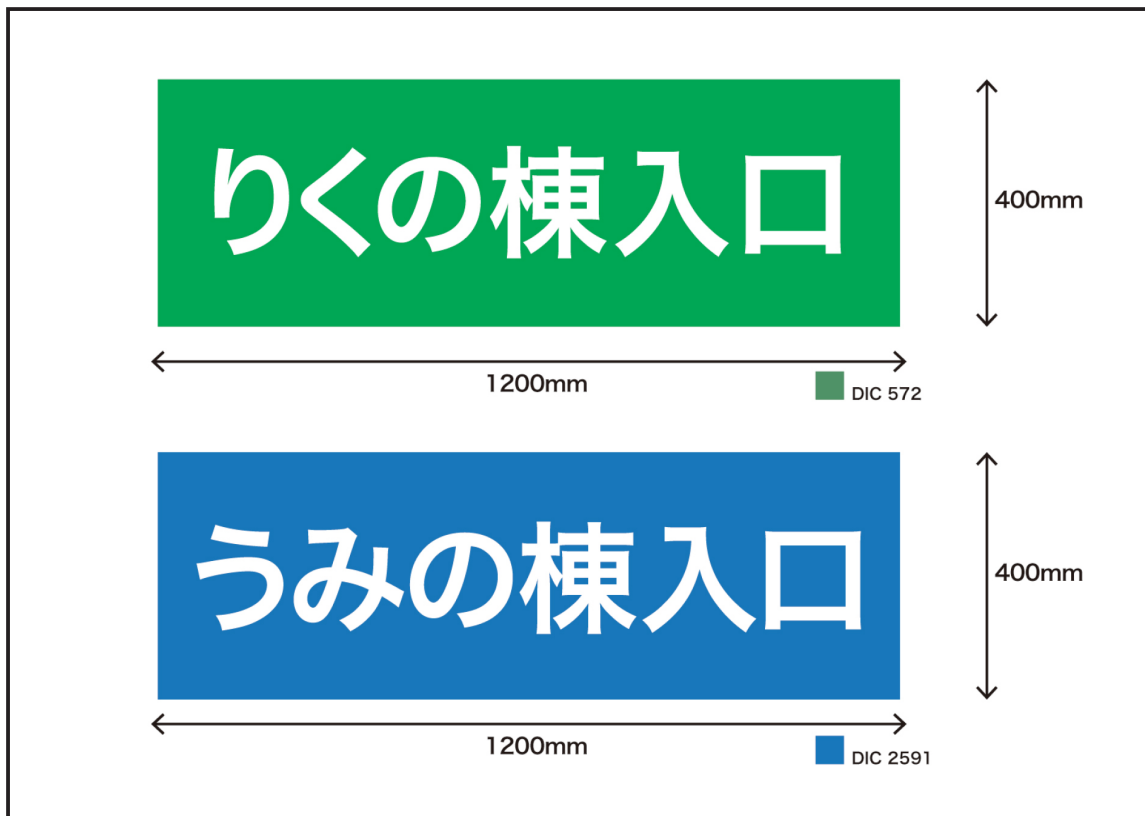


「みんなのトイレ」施工後（入り口）

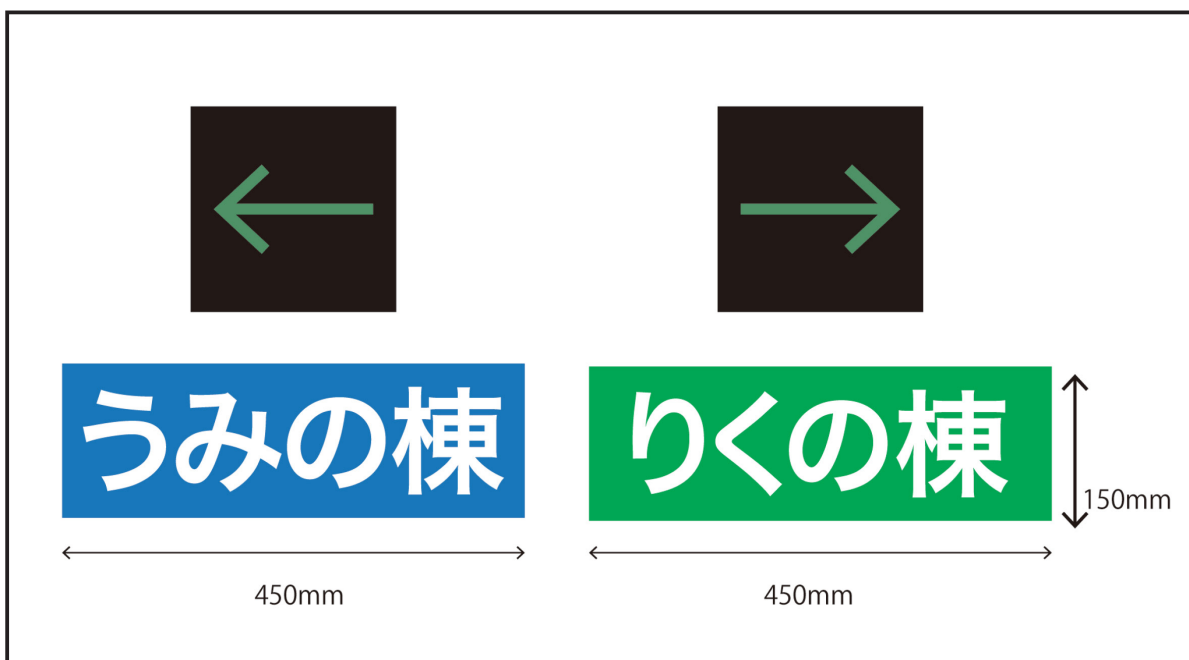


「みんなのトイレ」施工後（内部）

南1 駐車場入り口案内表示



「りくの棟」「うみの棟」入り口看板寸法



「りくの棟」「うみの棟」満空表示ロゴ寸法

南1 駐車場入り口案内表示施工後

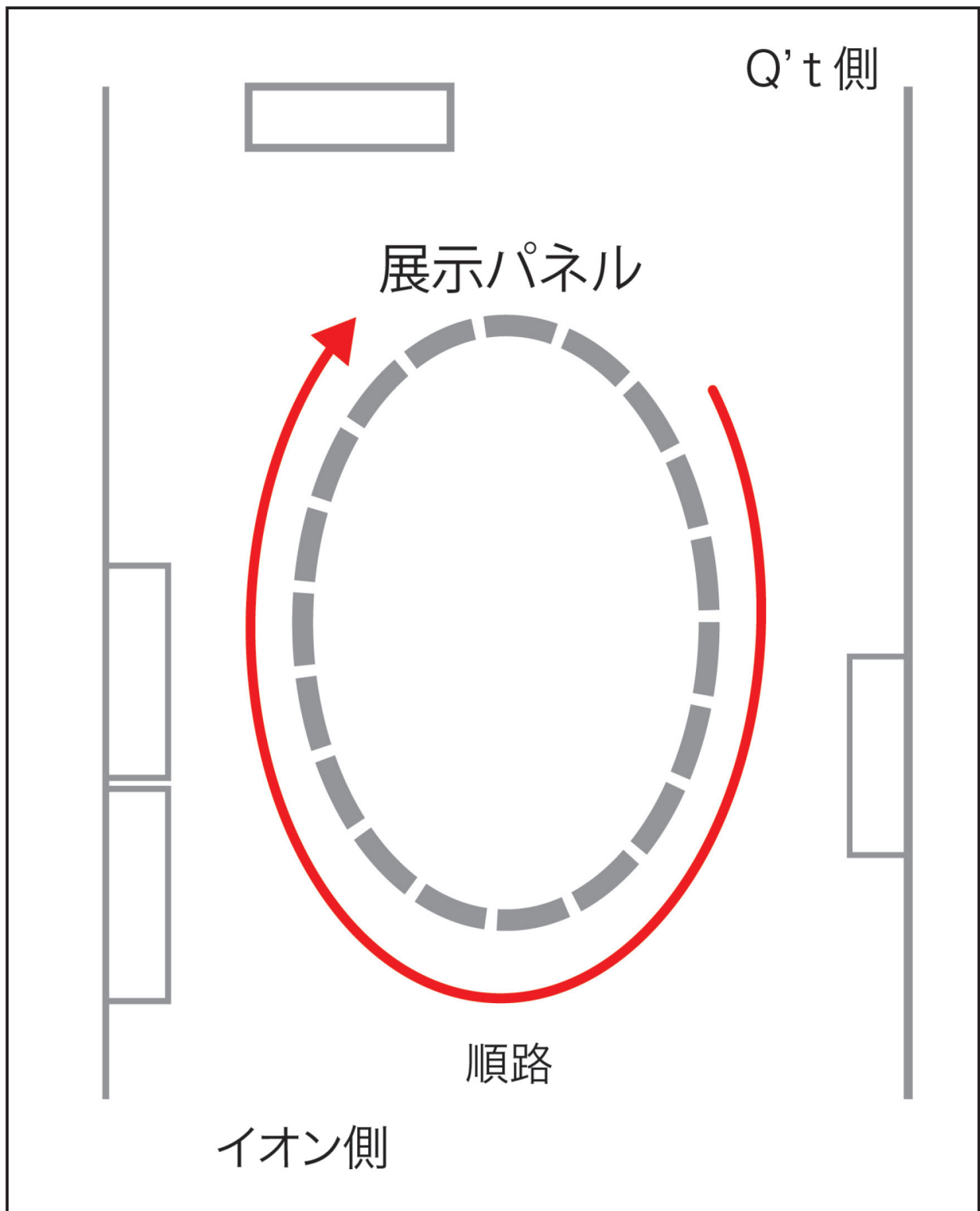


「りくの棟」「うみの棟」入り口看板施工後



「りくの棟」「うみの棟」満空表示ロゴ施工後

展示パネルレイアウト



イベント展示レイアウト



改善ポイント

うみとりのくの駐車場
リニューアル
記念イベント



1 館別のテーマカラー

以前の駐車場



南棟 北棟

リニューアル後

DIC572 DIC2591


「りくのとう」北棟 「うみのとう」南棟

「りくの棟」(北棟) … 「森のみどり」
「うみの棟」(南棟) … 「海のおお」

2館にわたる6色の階層毎の色分け老朽化し、見えにくかった。

2 フロア表示の単純化

以前の駐車場



A、B、C、D表示
「南4C」→覚える要素が多かった

リニューアル後


3A 3B

A、Bのみのシンプルな表示に変更


3 読みやすい書体とピクトグラムの採用

ヒラギノ角ゴシック


高速道路表示と同じ書体を採用



トイレ



階段



身体障害者

標準規格の図記号を採用



ポスター部 B1 サイズ

イベント説明パネルデザイン例 (H1800mm × W900mm)

説明パネルデザイン



イベント説明パネル展示 (Q't 側)



イベント説明パネル展示 (イオン側)

筑波学院大学デザイン・アニメーションゼミによるイベント運営



筑波学院大学学生によるイベント設営



筑波学院大学教員によるイベント運営の説明



アンケート調査



アンケート調査

筑波学院大学デザイン・アニメーションゼミによるイベント運営



来場者への説明



ぬりえ体験コーナー

リニューアルイベント配布用キャラクターグッズ



「うみの棟」「りくの棟」キャラクター風船



「うみの棟」「りくの棟」キャラクターエコバッグ

リニューアルイベント配布用キャラクターグッズ



「うみの棟」「りくの棟」キャラクタークリアファイル



「うみの棟」「りくの棟」シール

リニューアルイベントぬり絵体験コーナー



「うみとりくの駐車場」キャラクターぬり絵



ぬり絵体験コーナー

リニューアルイベント配布用絵本



©TCL 2011 Printed in Japan

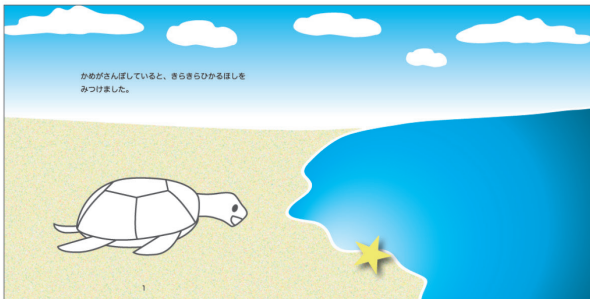
「うみの棟」「りくの棟」絵本



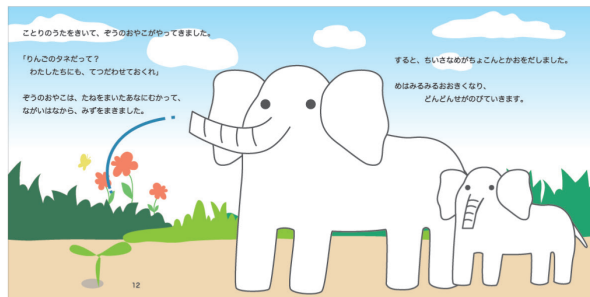
「うみの棟」「りくの棟」絵本（表紙）



「うみの棟」「りくの棟」絵本（絵本中央）

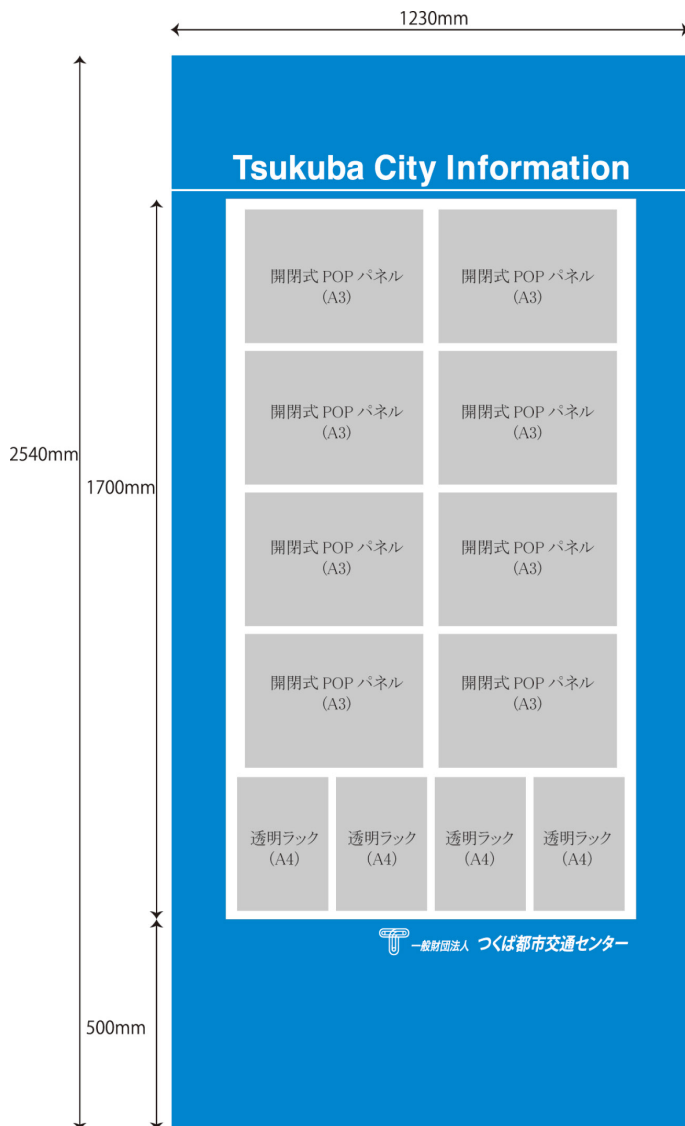


「うみの棟」「りくの棟」絵本 (うみの物語)



「うみの棟」「りくの棟」絵本（りくの物語）

Tsukuba City Information ・ Tsukuba MAP



「Tsukuba City Information」デザイン

DIC181

C=93%
M=29%

「Tsukuba MAP」デザイン

DIC181

C=93%
M=29%

Tsukuba City Infomation

材質 : アルミ複合板 t=3mm デザインシート貼り

寸法 : W1,230mm × H2,540mm

数量 : 1面

色番号 : DIC181 (C=93, M=29, Y=0, K=0)

Tsukuba MAP

材質 : アルミ複合板 t=3mm デザインシート貼り

寸法 : W780mm × H2,540mm

数量 : 1面

色番号 : DIC181 (C=93, M=29, Y=0, K=0)



「Tsukuba City Information・Tsukuba MAP」 施工後

うみとりくの駐車場インフォメーション



DIC181



C=93%
M=29%

「うみとりくの駐車場インフォメーション」デザイン寸法

材質 : アルミ複合板 t=3mm デザインシート貼り

寸法 : W2,810mm × H1,800mm

数量 : 1面

色番号 : DIC181 (C=100, M=60, Y=0, K=0)

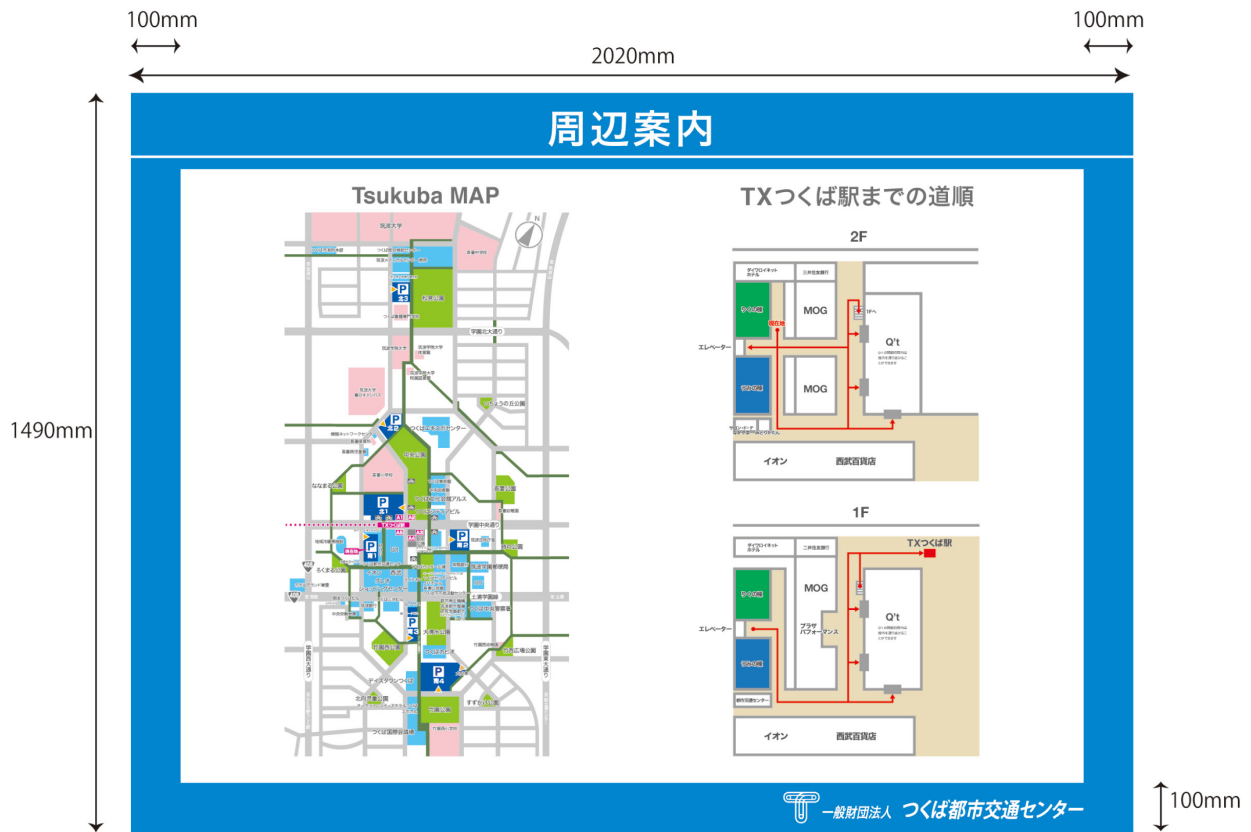


「うみとりくの駐車場インフォメーション」施工後



「うみとりくの駐車場インフォメーション」施工後

周辺案内



「周辺案内」デザイン寸法

材質 : アルミ複合板 t=3mm デザインシート貼り

寸法 : W2,020mm × H1,490mm

数量 : 1面

色番号 : DIC181 (C=100, M=60, Y=0, K=0)

DIC181



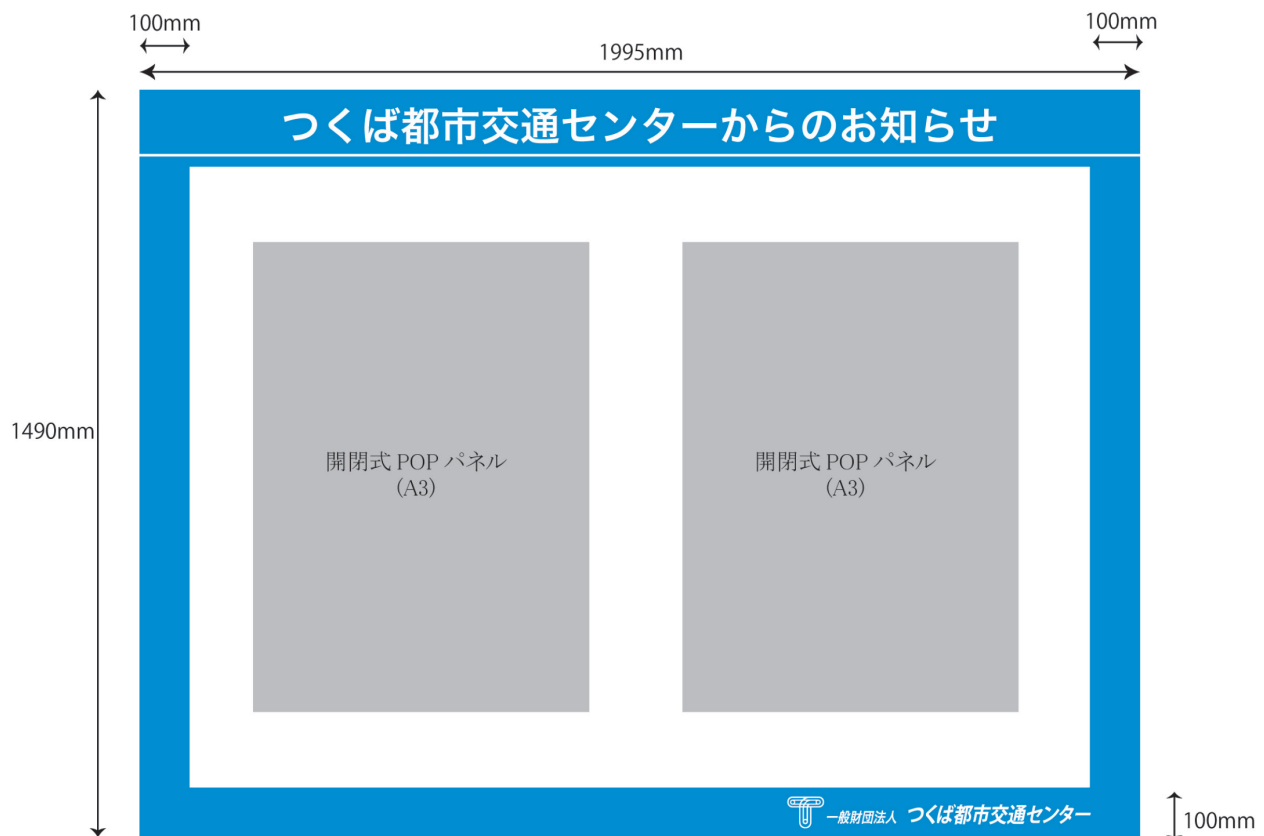


「周辺案内」施工後



「周辺案内」施工後

つくば都市交通センターからのお知らせ



「つくば都市交通センターからのお知らせ」デザイン寸法

材質 : アルミ複合板 t=3mm デザインシート貼り

寸法 : W1995mm × H1,410mm

数量 : 1面

色番号 : DIC181 (C=100, M=60, Y=0, K=0)

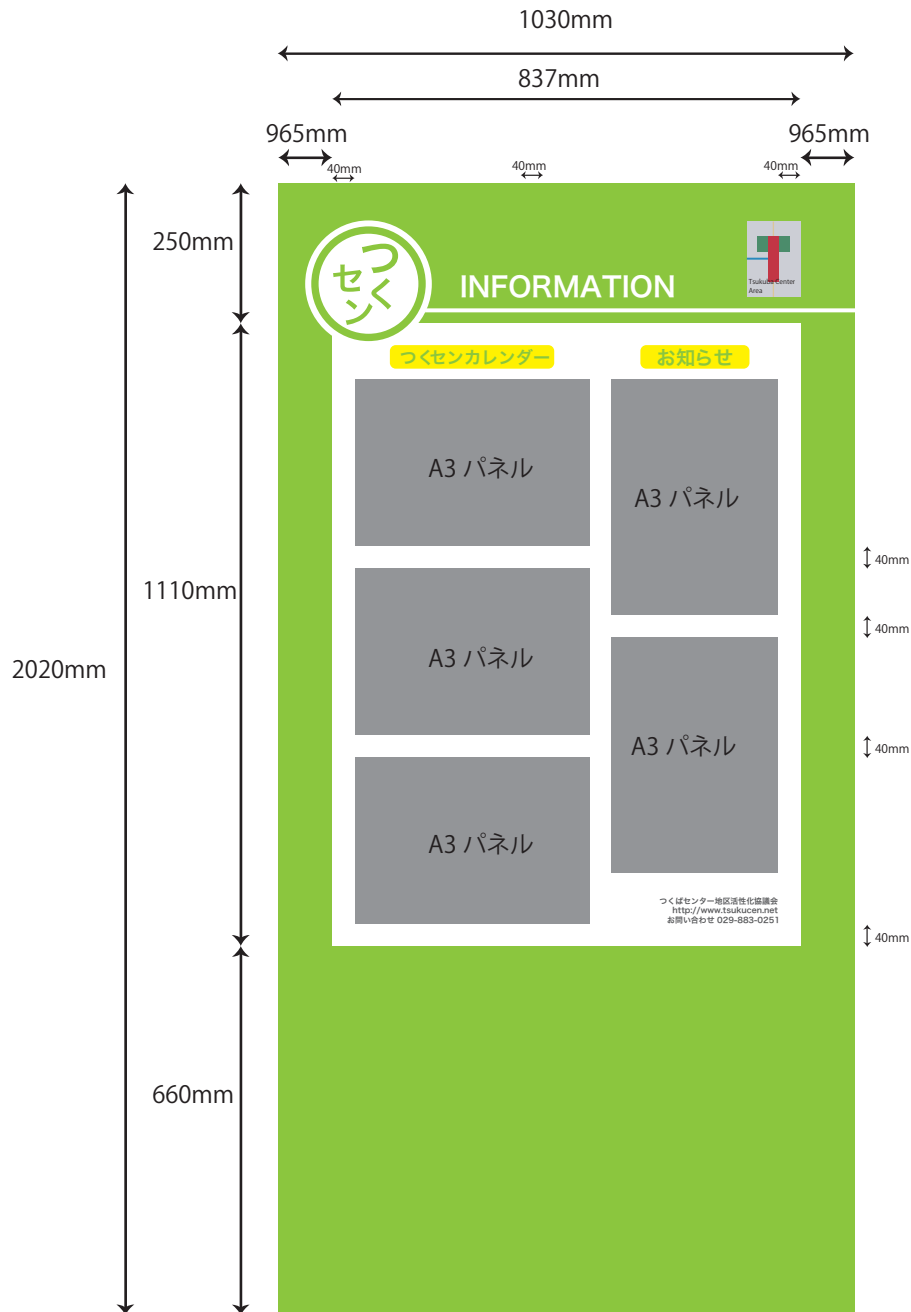


「つくば都市交通センターからののお知らせ」 施工後



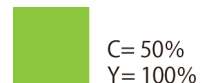
「つくば都市交通センターからののお知らせ」 施工後

つくセン INFORMATION



白い部分 830×1110mm

「つくセン INFORMATION」デザイン寸法



材質 : アルミ複合板 t=3mm デザインシート貼り

寸法 : W1,300mm × H2,020mm

数量 : 1 面

色番号 : C=50, M=100, Y=0, K=0)



「つくセン INFORMATION」 施工後

新名称とロゴマーク

プラザ・パフォーマンスに設置する市民ギャラリーの名称について、つくば市内において、「市民ギャラリー」(つくば都市振興財団管理)の名称が既に使われていることから、当財団でも市民ギャラリーの名称を使用すると、利用者及び観覧者に混同される恐れがあった。また、ギャラリーの特徴として、1. 固有性、2. 誰でも使えるギャラリーである、3. プラザ・パフォーマンスにあるギャラリーである。このことから、新しいギャラリーの名称は「プラザ・パフォーマンス ギャラリー」となった。

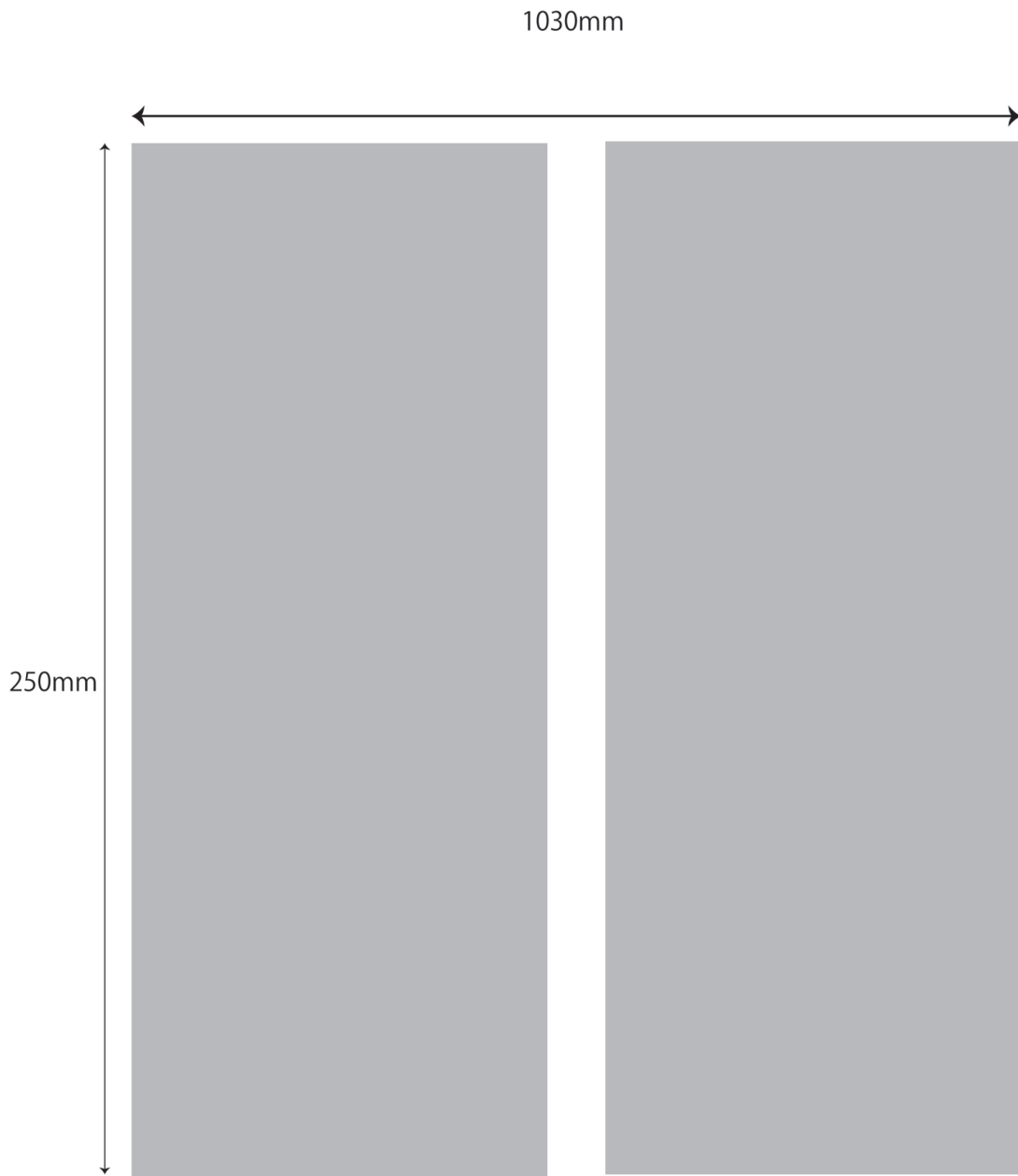


プラザパフォーマンスギャラリー看板デザイン寸法



プラザパフォーマンスギャラリー全景 (夏バージョン)

タペストリー展示



タペストリーサイズ

プラザパフォーマンスギャラリーの活用
タペストリー展示



タペストリー展示（秋バージョン）



タペストリー展示（冬バージョン）



タペストリー展示（夏バージョン）



タペストリー展示（クリスマスバージョン）

市民ギャラリー



市民ギャラリー展示



市民ギャラリー展示



市民ギャラリー展示



市民ギャラリー展示



市民ギャラリー展示



市民ギャラリー展示

プラザパフォーマンスギャラリーの活用
ワークショップ



ワークショップ (草月流)



ワークショップ (草月流)



ワークショップ (草月流)



ワークショップ (草月流)



ワークショップ (草月流)



ワークショップ (草月流)

ワークショップ



イベント「ねぶたの技法で作る筑波山」



イベント「ねぶたの技法で作る筑波山」



イベント「ねぶたの技法で作る筑波山」



イベント「ねぶたの技法で作る筑波山」



イベント「ねぶたの技法で作る筑波山」



イベント「ねぶたの技法で作る筑波山」

あとがき

本書の刊行にあたり、各駐車場事業者様からの資料提供や助言をはじめとして大妻女子大学准教授 中川麻子先生、筑波学院大学講師 高嶋啓先生による執筆監修等、多大なるご支援、ご協力をいただきました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

当財団としては、引き続き、駐車場利用者の皆様の要望を真摯に受け止めつつ、時代に即応した快適な空間づくりをめざして今後も取り組んでいく所存です。

本書が皆様の一助となり、駐車場におけるサインデザイン計画の参考になれば幸甚です。

本書編集責任者

一般財団法人 つくば都市交通センター

つくばクリエイティブラボラトリー (TCL) 代表
筑波学院大学講師 高嶋 啓

掲載されている記事・写真の無断転載を禁じます。すべての著作権は一般財団法人つくば都市交通センターに帰属します